

目次

- [1] 平成 1 7 年度予算概算要求に係る基本方針・重点事項
- [2] 各部の基本方針・重点事項の概要
 - 1) 都市・住宅関係の概要
 - 2) 治水関係の概要
 - 3) 道路関係の概要
 - 4) 港湾空港関係の概要
 - 5) 営繕関係の概要

[1] 平成 1 7 年度予算概算要求に係る基本方針・重点事項

基本方針

近畿地方整備局の平成 1 7 年度予算については、6 月 4 日付けで閣議決定された「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2 0 0 4」の方針に沿いつつ、地域の個性を生かした多元的連携を進めることによる近畿の再生を目指し、昨年 1 0 月に閣議決定された「社会資本整備重点計画」を受けて策定した、「近畿の社会資本整備プロジェクト」の下記の 5 つの基本的な方針に沿ったプロジェクトを重点的に要求していく。

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 【 にぎわい近畿 】 | 「人」が集まり交流するための近畿の都市の再生 |
| 【 産業いきいき近畿 】 | 近畿の産業再生を支援する交通・情報基盤等の整備 |
| 【 セーフティ近畿 】 | 安全で安心できる暮らしの実現 |
| 【 多文化共生近畿 】 | 近畿の「文化風土」を活かした地域づくりの推進 |
| 【 エコ近畿 】 | 近畿の環境共生に向けた取り組み |

重点事項の概要（代表的な事例）

【にぎわい近畿】

～「人」が集まり交流するための近畿の都市の再生～

■都市の重要インフラである交通、居住、文化機能の強化

- 都市圏の渋滞対策《第二京阪道路（大阪北道路）》----- P 3
- 連続立体交差事業等を中心とした市街地の活性化
《福井駅周辺地区の再生》----- P 4
- P F I 手法による中心市街地の活性化
《特定公共賃貸住宅の整備（福井県鯖江市）》----- P 5

■水都大阪の再生等、都市の個性を生かした都市整備の促進

- 魅力ある水辺都市再生《大和川・淀川高規格堤防整備、道頓堀川再生》
----- P 6
- にぎわいのある都市空間再生《都市再生緊急整備地域 大阪駅北地区の整備・
御堂筋周辺地区の再生》----- P 7

都市圏の渋滞対策

～第二京阪道路(大阪北道路)～

渋滞による弊害は、時間損失による経済活動の低下、沿道環境の悪化のほか、渋滞を避ける通過車両が沿線の生活道路に進入し、地域住民が危険にさらされるなど、非常に大きなものとなっています。

このような状況を改善すべく、近畿地方整備局では、幹線道路の整備を進めており、平成15年に第二京阪道路、京都第二外環状道路の部分開通を行いました。

平成17年度も引き続き、第二京阪道路をはじめとする高規格幹線道路や 地域高規格道路について整備を進め、道路交通環境の改善に努めます。

【第二京阪道路 部分開通による効果(交通渋滞)】

- ・**国道1号横大路交差点の渋滞が解消**
(北行き最大渋滞長 3,650m→解消)



国道1号横大路交差点(京都市)
を先頭とする交通混雑



開通前:平成14年11月19日(火)調査
開通後:平成16年 2月18日(水)調査

横大路交差点のピーク時の最大渋滞状況

【第二京阪道路 部分開通による効果(救急医療)】

部分開通により**枚方・京都間が約30分**で緊急搬送可能



京阪奈病院(枚方市)と武田病院(京都市)で、**循環器内科において24時間体制の救急医療体制が確立**

(H15.10～H16.6の搬送事例:9件)

<枚方寝屋川消防組合>

第二京阪道路が部分開通したことにより、京都方面へは短時間で搬送できるようになったため、救急搬送の選択肢が増えて、より迅速な対応ができるようになりました。今後、第二京阪道路が門真まで全線開通することにより、枚方市南部や寝屋川市の救急医療が充実すると期待しています。



連続立体交差事業等を中心とした市街地の活性化 ～福井駅周辺地区の再生～

1 概要

福井駅周辺は、行政・経済・文化等の多彩な都市機能が集積する県都の中心であるが、近年のモータリゼーションの進展と、それに伴う交通渋滞と中心商業機能の低下、中心市街地での居住人口の減少により都心部の活力が低下しています。

このため、連続立体交差事業を核とした、①都市交通の円滑化②交通結節点への都市機能の集中③快適な都市空間の創出等を図っており、これと連携し民間の地域活性化の取り組みとして、商店街や商工会議所と市により、まちづくり会社を設立し、コミュニティーバスの運行や、アーケードの整備等を行っています。

●平成17年度は、同年度春の高架でのJR運行開始・交差道路の供用に続き、連続立体交差事業を概成させる予定。

事業着手

- ・連続立体交差事業
平成4年度
- ・土地区画整理事業
平成4年度

完成予定

- ・連続立体交差事業
平成18年度（JR線）
- ・土地区画整理事業
平成21年度

○整備内容

連立事業	土地区画整理事業
延長 : L = 6.0 km	対象面積 : A = 16.3 ha
踏切除去数 : 5箇所	事業主体 : 福井市
事業主体 : 福井県	

2 平成17年度の整備内容

- ・福井駅付近連続立体交差事業 : 交差道路の整備およびJR仮線撤去（JR高架切替は平成17年春予定）
- ・幸橋整備事業 : 下流側上部工製作・架設と物件補償
- ・福井駅周辺都市区画整理事業 : 道路築造および物件補償
- ・手寄地区第一種市街地再開発 : 共同施設整備等
- ・福井駅前地下駐車場（仮称）整備事業 : 躯体工（H18年度完成予定）

整備箇所



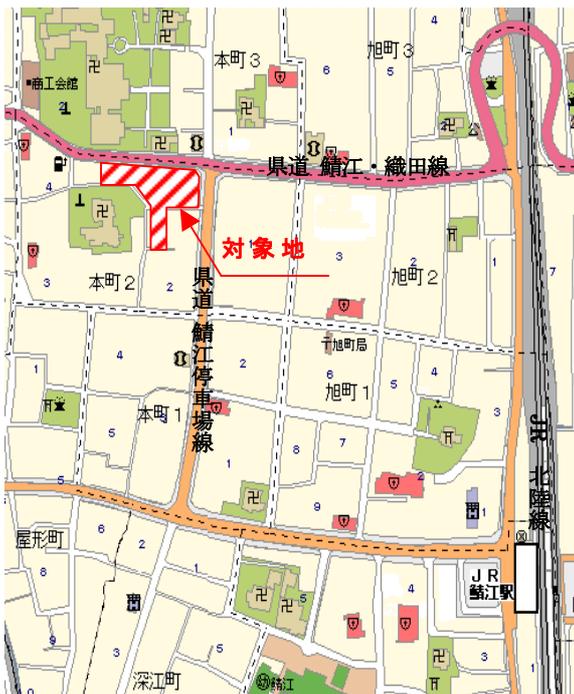
	福井駅付近連続立体交差事業
	幸橋整備事業
	福井駅周辺土地区画整理事業
	手寄地区第一種市街地再開発
	大名町交差点地下横断歩道改善事業
	福井駅前地下駐車場（仮称）整備事業

PFI 手法による中心市街地の活性化 ～特定公共賃貸住宅の整備（福井県鯖江市）～

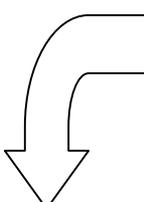
<p>1 概要</p> <p>鯖江市の中心市街地においては、定住人口の減少や高齢化の進展、空き店舗の増加等空洞化が目立ち、中心部の機能および商業力の低下をもたらしています。そこで民間の資金力とノウハウを活用し、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るPFI手法を活用して、特定公共賃貸住宅、交流施設センター、高齢社会に対応した福祉施設（ケアハウス）を合築した施設を平成17年度に完成させる予定です。この施設を核として、世代を超えた多様な交流等を促進し、魅力ある中心部とすることにより、定住人口の増加や賑わいを取り戻し、中心市街地の活性化を図ります。</p>	<p>事業着手 H16年度</p>
	<p>完成予定 H17年度</p>

<p>○ 整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業主体：鯖江市 ・ 敷地面積：3,506㎡ 構造等：RC造6階建て 延べ床面積7,622㎡ <p>合築する施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定公共賃貸住宅：5、6階 14戸 ・ 地域交流センター：1～4階（多目的ホール、トレーニングルーム他） ・ ケアハウス：1～6階 定員50名（個室44、夫婦室3） 	
--	--

<p>2 平成17年度整備内容</p> <p style="margin-left: 40px;">5月 完成予定</p> <p style="margin-left: 40px;">7月 管理開始予定（※）</p> <p style="margin-left: 40px;">（※）BT0（Build-Transfer-Operate：建設-譲渡-運営）方式を活用</p>	
--	--



位置図





建替前(物品販売店)



完成イメージ

魅力ある水辺都市再生

～大和川・淀川高規格堤防整備、道頓堀川再生～

●水辺都市再生事業

○概要

治水・都市防災の観点から整備の必要性の高い既成市街地を安全・安心な水辺都市に転換し、良好な市街地を形成するため、市街地整備や都市再生環状道路と高規格堤防整備を一体として行う水辺都市再生事業を推進します。

○平成17年度の整備内容

都市再生プロジェクト関連の阪高大和川線地区、阪高淀川左岸線地区等について、高規格堤防整備とまちづくりの一体整備を推進します。



●道頓堀川再生事業

○概要

河川に囲まれた「水都大阪」を再生するため、大阪を代表する河川であり大阪の都心南部に残された重要なウォーターフロントである道頓堀川において、川を軸とした水辺に開かれた安全な沿川空間の形成を図り、河川と下水道の連携による水質改善、橋梁の美装化により、道頓堀川を活かした多目的な空間整備を促進し、「水都大阪」の再生をめざします。

○平成17年度の整備内容

新戎橋^{しんえびす}～相合橋^{あいあう}の築堤・護岸の整備（河川環境整備・河川再生）

合流式下水道の改善（下水道）

戎橋の架替、太左衛門橋の修景（まちづくり交付金）

事業着手平成7年度 完成予定22年度



にぎわいのある都市空間再生

～ 都市再生緊急整備地域 大阪駅北地区の整備・御堂筋周辺地区の再生～

都市再生緊急整備地域

大阪駅北地区

1. 概要

大阪駅北地区の優位性を活かし関西経済の活性化や都市魅力の創出に向けた都市基盤施設の整備を行い、国際的な企業の集積や新産業の立地の支援、日本の国際競争力の強化、関西の都市再生を担う拠点の形成を目指します。

平成17年度は、土地区画整理事業として先行開発区域(7ha)の埋設物の移設、電線共同溝の設置を行う予定です。

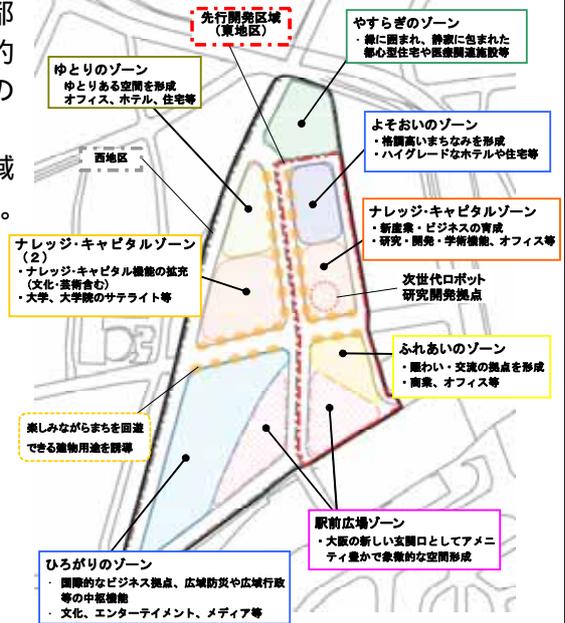
2. 平成17年度の整備内容

- ・埋設物移設
- ・電線共同溝設置



大阪駅北地区まちづくり基本計画

(平成16年7月30日)



御堂筋周辺地区

1. 概要

大阪のメインストリートである御堂筋は、業務・商業・文化面にわたり大阪の中核機能を担っていますが、人が集える、楽しめる空間の不足など沿道の活気が急速に生われつつあります。このため、民間団体のまちづくり活動が高まる中、業務・商業等の機能の高度化した集積地を形成する御堂筋活性化の取り組みの支援を行います。

平成17年度は、引き続き、橋梁の架替等を行うとともに、地下通路等の歩行支援施設を完成させる予定です。

2. 平成17年度の整備内容

- ・ソフト事業：
 - まちづくり活動の支援(民間団体)
 - 「(仮称)御堂筋実行委員会」(H16設立)を中心とし実施可能な取り組みを進めていく予定です。
 - また、御堂筋活性化のための市民活動の拠点となる「(仮称)御堂筋マネジメントセンター」の設立に向けて検討を進めます。
- ・ハード事業：橋梁架替(戎橋・新戎橋・相合橋)
- 橋梁新設(道頓堀川人道橋(仮称))
- 地下通路・エレベータ整備(長堀地区)



【社会実験「御堂筋オープンフェスタ」：H15.11.23】



【御堂筋再生プラン(イメージ図)】

【産業いきいき近畿】

～近畿の産業再生を支援する交通・情報基盤等の整備～

■国際競争力の強化、関西経済の活性化のための都市基盤の強化

- スーパー中枢港湾プロジェクトの推進《神戸港・大阪港》 ----- P 9

- 国際物流ネットワークの構築《大阪港夢洲トンネル》 ----- P 10
- 空港アクセスを向上させる交通基盤の整備《新交通「ポートアイランド線」
延伸（神戸市）》 ----- P 11

- ライフサイエンス等の科学技術振興を支える都市基盤の整備《彩都〔国際文
化公園都市〕（大阪市茨木市・箕面市）》 ----- P 12

- 関西文化学術研究都市の支援《国道163号清滝生駒道路》----- P 13

■地域活性化・観光振興を支える関西における環状道路・広域連携ネットワークなどの 基盤整備

- 関西における環状道路の形成《京奈和自動車道、**H17一部供用**》
----- P 14

- 地域活性化を支援する広域連携ネットワークの形成《北近畿豊岡自動車道、
京都縦貫自動車道》 ----- P 15

スーパー中枢港湾プロジェクトの推進 ～神戸港・大阪港～

1. 概要

平成16年7月23日にスーパー中枢港湾の指定を受けた神戸港・大阪港では、世界トップクラスのコスト・スピード・サービス水準の実現のため、両港の連携強化に向けたコンテナ物流の円滑化情報システム構築の支援や24時間フルオープン化に向けた支援、並びに、大水深岸壁(-16m)を備えたコンテナターミナルの整備に着手し、スーパー中枢港湾プロジェクトの推進に取り組みます。

ターミナル運営システムの統合、IT化やコンテナ船の大型化への対応(-16m)

ロジスティクス産業の集積促進

神戸港 ポートアイランド地区



阪神港の
連携強化！

大阪港 夢洲地区



港湾の広域連携強化に向けたコンテナ物流の円滑化情報システム構築の支援(阪神港広域IT基盤)

24時間フルオープン化の支援

2. 目標 — 世界トップクラスのコスト・スピード・サービスの実現 —

- ・港湾コスト;現状より約3割低減を目指します。
- ・リードタイム;現状3～4日を1日程度まで短縮(シンガポール港と同レベル)。

国際物流ネットワークの構築

～大阪港夢洲トンネル～

1. 概要

海上物流ネットワークと陸域交通網との有機的な連携により、効率的な物流体系を形成するとともに、港湾内及び港湾から背後地域への円滑な物流の確保や交通渋滞の解消を図ることを目的に、大阪港において、夢洲～咲洲を結ぶ臨港道路(夢洲トンネル)の整備促進を図ります。



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、沈埋トンネル部の沈埋函製作・沈設を行うとともに、引き続き陸上トンネル部(咲洲・夢洲アプローチ部)の整備促進を図ります。

空港アクセスを向上させる交通基盤の整備
 ～新交通「ポートアイランド線」延伸(神戸市)～

1 概要

新交通ポートアイランド線延伸事業は、ポートアイランド第2期や神戸空港島から生じる新たな交通需要に対応するとともに、ポートアイランドの交通利便性を向上させるため、神戸都心部の三宮とポートアイランド(第1期、第2期)及び神戸空港島を結ぶものである。

●平成17年度は、同年度中の神戸空港開港にあわせて開業するべく事業を完成させる予定。

事業着手
平成13年度

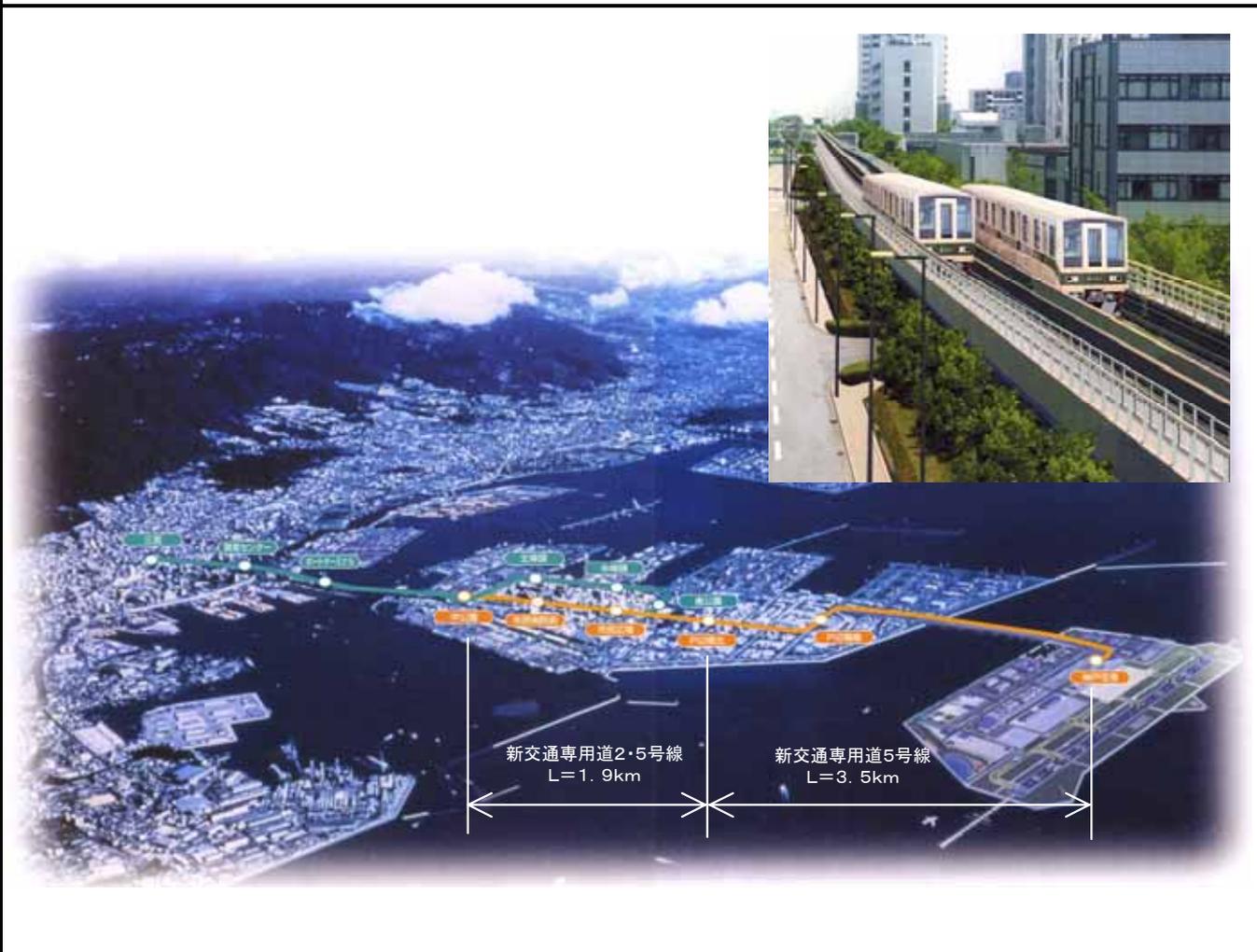
完成予定
平成17年度

○ 整備内容

延 長 : L=5.4km
 (新交通専用道2・5号線 1.9km、同5号線 3.5km)
 駅 数 : 線増部2駅、延伸部3駅

2 平成17年度の整備内容

上部工架設、橋面工、駅舎建築工事、桁下復旧工事



ライフサイエンス等の科学技術振興を支える都市基盤の整備 ～彩都〔国際文化公園都市〕（大阪府茨木市・箕面市）～

1. 概要

関西の国際拠点形成を支援するため、引き続き関西文化学術研究都市、神戸医療産業都市、西播磨科学公園都市、彩都（国際文化公園都市）などの学術研究都市の整備推進を図ります。

事業着手
H6年度

彩都（国際文化公園都市）は北大阪の丘陵地に位置し、人と自然の調和を都市形成の基本に、ライフサイエンス分野の研究開発拠点をはじめ、国際的な学術研究・文化交流拠点を目指しており、国際化・高齢化・高度情報化など時代のニーズに対応した都市基盤（区画整理、モノレール、共同溝等）の整備を支援します。

●平成17年度から平成18年度にかけて西センター駅（仮称）までのモノレール整備を進め、平成19年春の供用開始を予定している他、ライフサイエンス分野の施設の機能を発揮するため、関連するアクセス道路・公園・下水道の整備を進めます。

完成年度
H24年度

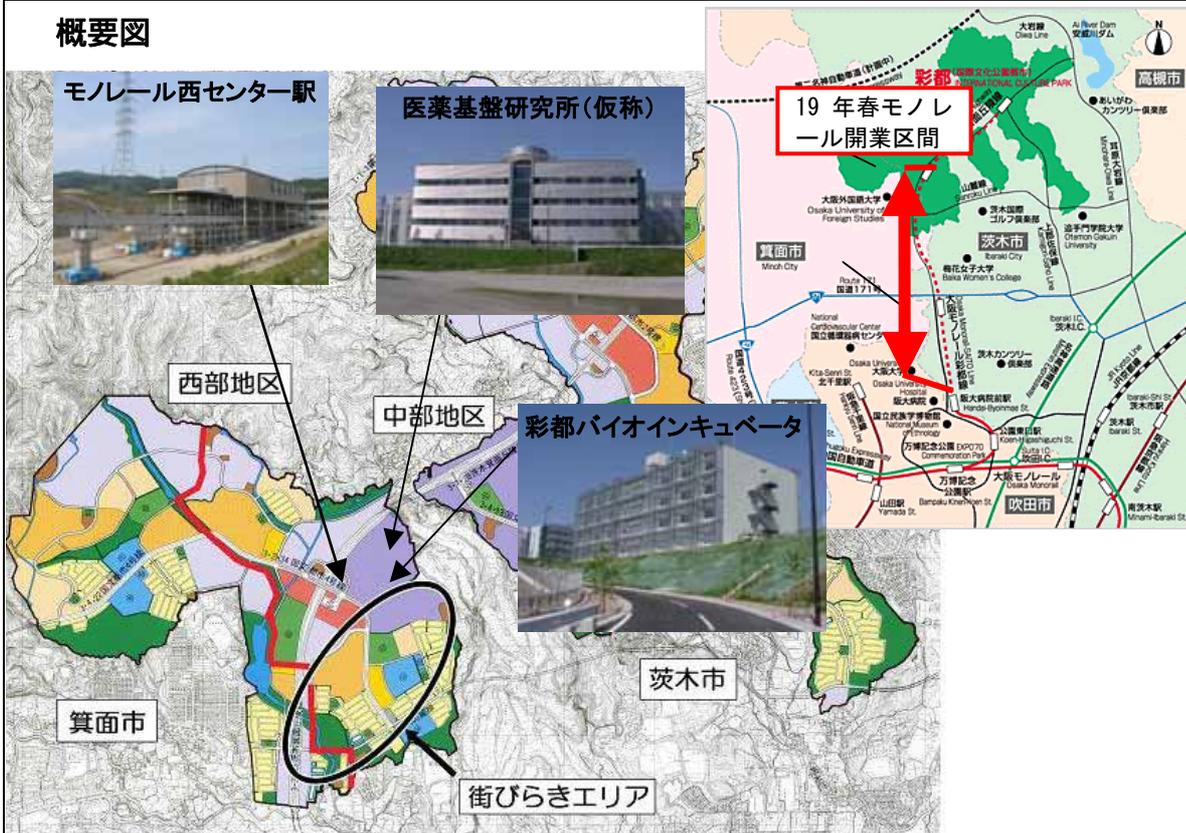
○都市基盤整備の内容

- 事業主体 : 大阪府、茨木市、箕面市、都市再生機構
- 事業期間 : 平成6年度～平成24年度
- 整備内容 : 土地区画整理事業、街路事業（モノレール、共同溝）、住宅市街地
基盤整備事業による道路、河川、下水道、公園、砂防などの整備

2. 平成17年度整備内容

- 土地区画整理事業：宅地等造成
- 街路事業：モノレール
- 住宅市街地基盤整備事業
：道路、河川、下水道、砂防工

概要図



関西文化学術研究都市の支援 ～国道163号清滝生駒道路～

京都、大阪、奈良の三府県にまたがる緑豊かな京阪奈丘陵において、建設・整備が進められているサイエンスパーク「関西文化学術研究都市(けいはんな)」は、東の「筑波研究学園都市(つくば)」とともに、国家プロジェクトに位置付けられています。

けいはんなへのアクセスは、平成12年4月に京奈道路が開通し、また、平成17年度には「京阪奈新線(生駒^{いこま}～登美ヶ丘^{とみがおか}; 仮称)」が開通予定となるなど、着実に整備が行われています。

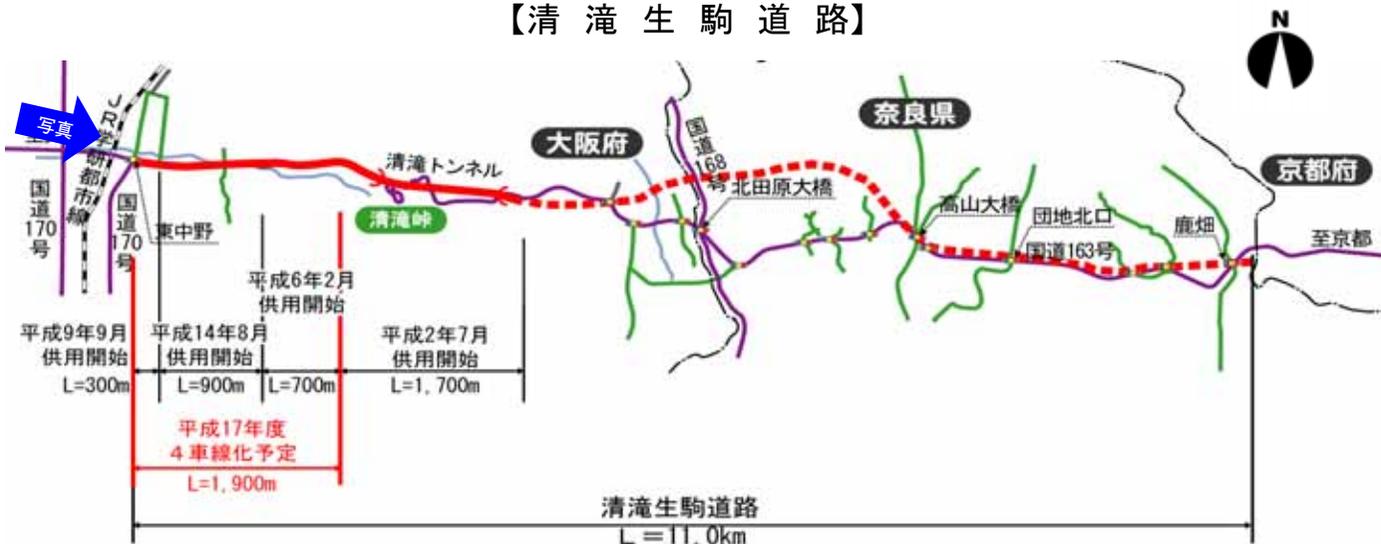
近畿地方整備局では、大阪方面からの更なる交通アクセスの向上を図るため、地域高規格道路 学研都市連絡道路の整備を推進しています。

平成17年度は、清滝生駒道路(清滝区間)の一部区間(L=1.9km)の4車線化を図る予定です。



清滝生駒道路(大阪府四條畷市)
【撮影年月 H15.12】

【清滝生駒道路】



関西における環状道路の形成 ～京奈和自動車道～

都市の骨格を形成するとともに、交通渋滞の緩和を図り、良好な生活空間を創造するため、環状道路を形成する京奈和自動車道の整備を重点的に進めます。

近畿地方整備局では、早期開通に向け、京奈和自動車道の整備を重点的に進め、平成17年度は、大和御所道路((仮)郡山南IC～(仮)橿原北IC L=7.8km)、五條道路(L=7.9km)、橋本道路(L=11.3km)の開通を図る予定です。



五條道路(奈良県五條市居傳町付近)
いであちよう



(平成16年6月撮影)

橋本道路
すだちよう
(和歌山県橋本市隅田町付近)



(平成16年3月撮影)

【京奈和自動車道 五條道路・橋本道路の整備効果】

五條道路・橋本道路の開通により、①国道24号の交通混雑の緩和、②奈良～和歌山間の所要時間の短縮、③世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」へのアクセス支援や物流の効率化による地域の活性化などの効果があります。

五條道路・橋本道路が開通すると、

20分短縮!
 開通前 38分 (国道24号) → 開通後 18分 (京奈和自動車道)

※五條市居傳町～高野口町大野間

【福本 富雄さん(橋本市消防署救急係長 救急救命士)のコメント】

橋本市及びその周辺地域においては、高度医療が行える救急救命センター等の医療機関がありません。救急医療は、時間との戦いであり、高速道路が完成することにより高度医療を必要とする救急患者搬送の時間短縮が可能となり、救命率の向上が図れます。また、祝祭日等でも特殊科目の受診も高速道路を使用することにより可能となり住民の安心につながります。

地域活性化を支援する広域連携ネットワークの形成 ～北近畿豊岡自動車道、京都縦貫自動車道～

国土構造の骨格を形成し、地域ブロックの自立的な発展や地域間の交流連携を促進するとともに、交通渋滞の緩和、交通事故の減少、環境負荷の軽減、物流の効率化等を図るため、京奈和自動車道、京都縦貫自動車道、北近畿豊岡自動車道、中部縦貫自動車道及び学研都市連絡道路など広域連携ネットワークを形成する路線について、投資効果を最大限発揮できるよう、重点的かつ効率的に整備を進めます。

近畿地方整備局 幹線道路網図



【セーフティ近畿】～安全で安心できる暮らしの実現～

■ 東南海・南海地震への対策

- 東南海・南海地震などの大規模災害に備えた取り組み《東南海・南海地震・津波等広域連携防災対策検討会の設置、一般国道42号那智勝浦道路の整備、近畿地域情報通信ネットワークの整備、西大阪地区耐震対策事業、海岸高潮対策事業、耐震強化岸壁、防災緑地や津波防波堤等の整備、都市部の海岸の耐震強化・液状化対策、津波等からの避難路等の保全》

----- P 17

■ 誰もが安心して暮らせるまちづくり

- 洪水に強い安全な地域づくり《堤防対策強化 高規格堤防整備事業（大和川【大和川線（三宝⑤地区）、瓜破西地区 **H17新規**】、無堤地区対策【由良川直轄河川改修事業（戸田地区）】、浸水被害対策【桂川右岸流域下水道北幹線管渠整備事業（いろは呑龍トンネル）】》

----- P 20

- 密集市街地の改善など防災上安全なまちづくり《萱島東密集整備（大阪府寝屋川市）》

----- P 21

- 福祉社会を支える社会基盤づくり《自律的移動支援プロジェクト（神戸市）》

----- P 22

東南海・南海地震などの大規模災害に備えた取組み

◎ 『東南海・南海地震・津波等広域連携防災対策検討会』の設置

広域で甚大な被害が予想されている東南海・南海地震に対処し、その被害を可能な限り最小化するために、防災や地震・津波に関する専門家のアドバイスを受けつつ、近畿地方における国・自治体及び関係機関が互いの情報を共有化し、連携を強化し、適切な対処を行うことを目的として、昨年6月26日に検討会を設立しました。今後、被害の特徴や地域別特性を考慮した3つのワーキングを設置し、より地域に密接した課題解決の検討を進めていきます。

◎ 災害時の生命線となる高規格道路の整備推進 一般国道42号 那智勝浦道路の整備

紀伊半島の主要都市は沿岸部に点在しており、その都市間の移動は国道42号に依存しています。国道42号は海岸沿いを通過しており、また台風の常襲地であることから頻繁に交通規制が発生しています。

また、紀伊半島では「東南海・南海地震」の発生も危惧されています。

このように災害に脆弱な紀伊半島において、那智勝浦道路は現道の交通混雑緩和や沿線地域の連携強化、地域の活性化を図るほか、災害時には国道42号の代替路、緊急輸送路としての重要な役割を果たす道路です。

平成17年度は、全線において工事を展開し、早期開通を目指します。



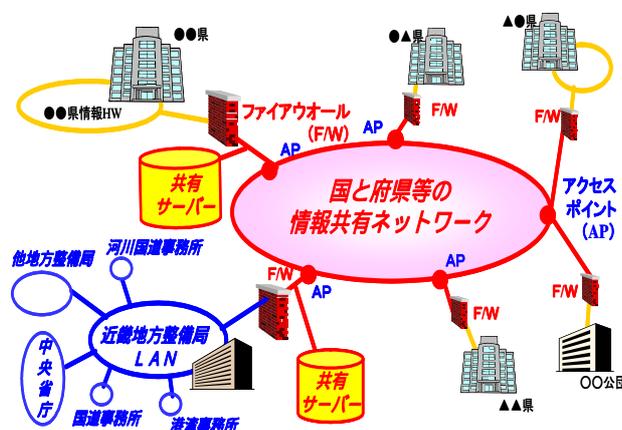
越波発生状況(古座町西向地区)



那智勝浦道路
(平成16年3月撮影)

◎ 近畿情報ネット構想の推進

東南海・南海地震などの大規模地震災害に備えた防災危機管理情報の共有化、日常の河川・道路・港湾等の情報サービスの高度化等に資するため、近畿地方整備局の光ファイバー網を活用し、国・自治体・公団等による情報共有ネットワークの整備推進を図るとともに、この情報ネットワークを活用した情報共有のあり方、整備方策等を「近畿情報ネット構想」と策定し、その実現を目指すものです。



◎海岸施設における耐震点検の推進等

東南海・南海地震等、大規模地震対策が喫緊の課題としてあるなか、海岸施設の耐震性については多くが調査未了です。

こうしたなか、数多くの海岸に対し、定量的・簡易的に耐震性を評価しうる手法の検討を今年度行います。この手法により耐震性の点検を行うと共に、既存施設の改良等、背後の人口や資産を護るべくハード整備を重点的かつ効果的に進めます。

【課題】

- ・長い海岸施設。
- ・機能喪失による甚大な被害が懸念。
- ・全ての海岸施設の点検、対策は時間と費用が掛かる。

定量的・簡易的な耐震性の評価手法の検討

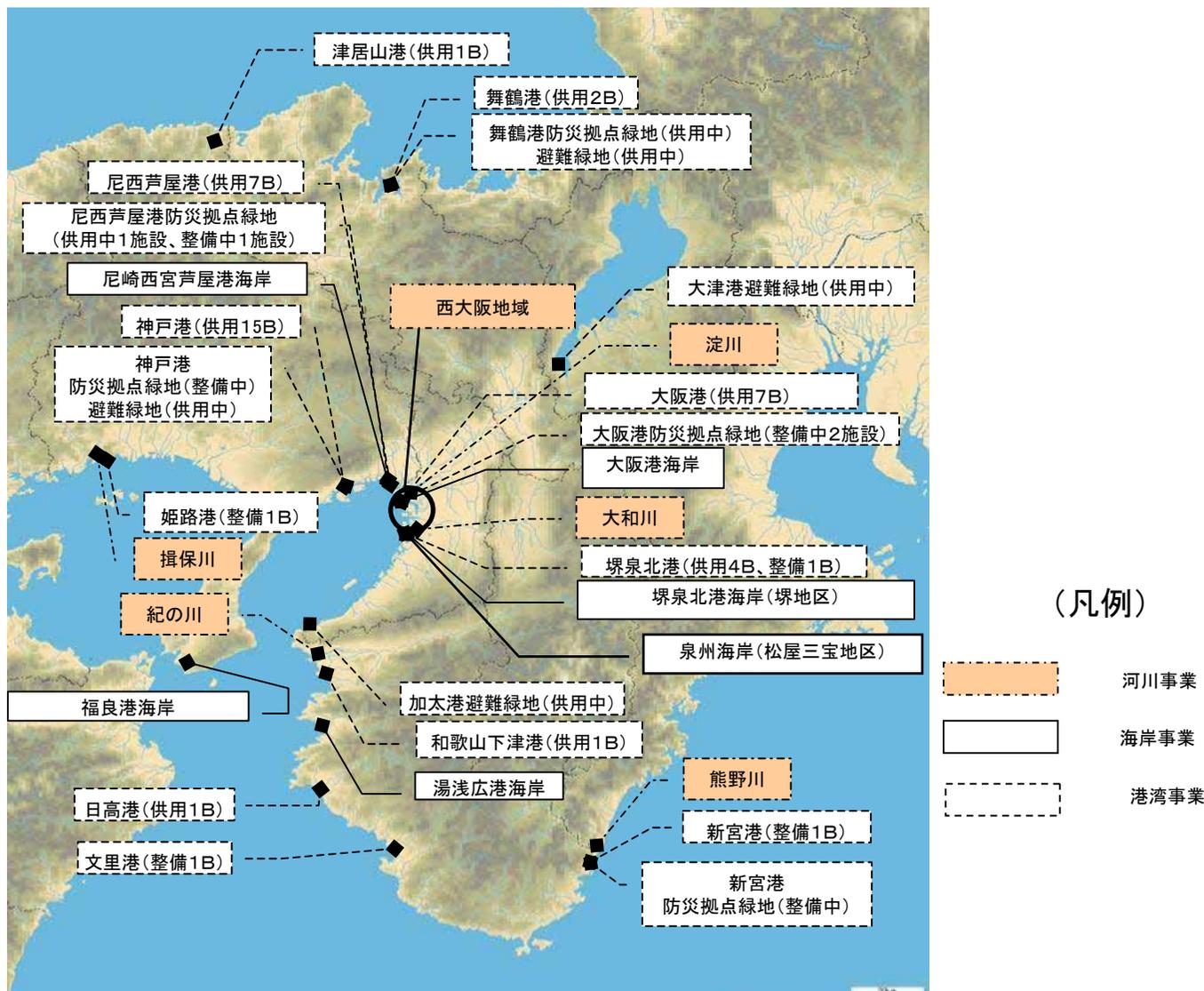
施設の耐震点検の実施

点検結果に基づき重点的かつ効果的なハード整備の推進

◎臨海部の防災対策の充実・強化

臨海部においては、防災機能を拡充するため、水門等の遠隔監視・操作化や港湾施設の耐震強化、防災緑地の整備などを推進します。

平成17年度整備予定箇所(耐震バース、避難緑地、河川・海岸施設の耐震化、津波防波堤 等)



平成17年度の整備内容

河川事業

- ・水門等の遠隔操作設備、ゲート補強、CCTVの設置等・・・熊野川、紀の川、大和川、淀川、揖保川

海防潮氾補強・・・西大阪地域（安治川・木津川・尻無川）

- ・護岸、堤防の嵩上げ・・・泉州海岸、堺泉北港海岸
- ・堤防等の耐震化・・・大阪港海岸、尼崎西宮芦屋港海岸、泉州海岸、堺泉北港海岸
- ・陸閘等の電動化・・・大阪港海岸、尼崎西宮芦屋港海岸、福良港海岸
- ・津波防潮堤の整備・・・湯浅広港海岸

港湾事業

- ・耐震強化・・・4港で実施
- ・避難緑地の整備・・・4港で実施



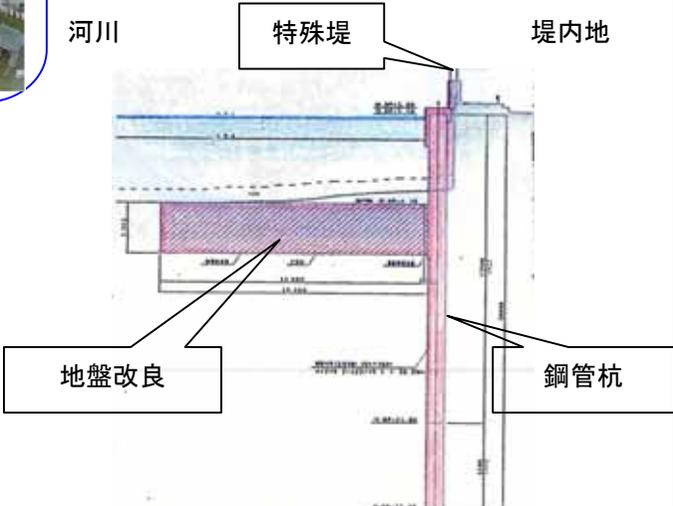
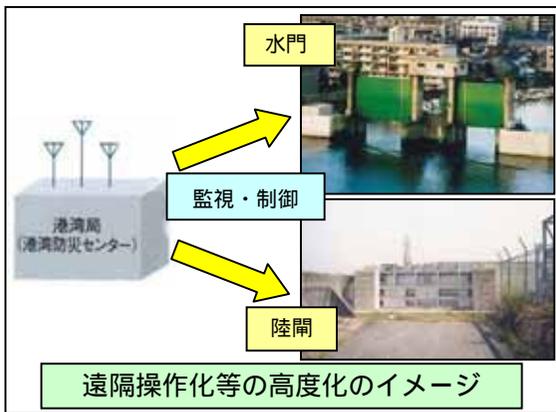
昭和36年の第二室戸台風による高潮被害
(大阪市港区)



電動化・軽量化等の改良が待たれる
防潮鉄扉(写真は訓練時の状況)

【臨海部防災拠点のイメージ】

【防災拠点及び耐震バースのイメージ】



特殊堤防の耐震補強事例

(地盤改良による支持力確保と鋼管杭の施工)

洪水に強い安全な地域づくり

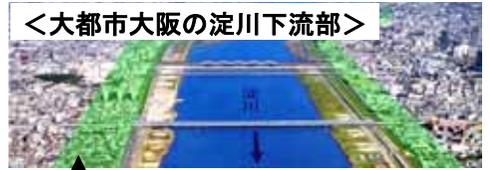
～堤防強化対策（高規格堤防整備事業・堤防補強）、無堤地区対策、浸水被害対策～

●堤防強化対策

1. 概要

人口・資産が高度に集積した大都市の壊滅的被害を未然に防ぐため、市街地整備と一体となった高規格堤防整備事業（スーパー堤防整備事業）を淀川及び大和川において推進します。また、緊急的な対策が必要な区間については堤防補強を実施します。

<大都市大阪の淀川下流部>



スーパー堤防整備区域

2. 平成17年度の整備内容

（高規格堤防）

淀川左岸の此花区高見地区において都市再生機構の高層住宅整備と連携を図りつつ、スーパー堤防とまちづくりの一体的な整備を進めていきます。



[高見地区]



[高規格堤防の整備イメージ]

（堤防補強）

人家が隣接している堤防で重点的に詳細点検を行い、浸透対策等が必要となる木津川下流及び猪名川等において、堤防補強対策を実施していきます。



[堤防補強の整備イメージ]

●無堤地区対策

1. 概要

綾部市街地から福知山市街地にかけての由良川中流部は、無堤地区のため度々浸水被害が生じており、このため上流から連続した堤防を整備してきました。戸田地区の集団移転に伴い地域社会の再構築に向けた安心で居心地の良い新田園地域の形成を推進するため、地域社会と連携し事業を進めていきます。



移転先整備状況

移転先

戸田橋

移転対象区域

由良川

戸田事業区間
堤防整備中
堤防整備予定

由良川中流部の改修計画

2. 平成17年度の整備内容

戸田地区では平成17年度より家屋移転に着手します。

●浸水対策事業

1. 概要

桂川右岸側の京都市、向日市及び長岡京市にまたがる西羽東師川等の流域においては、近年浸水被害が頻発しているにもかかわらず、急激な市街化の進展により川道の拡幅が困難な状況にありました。

このため京都府では、平成7年度より分流式で貯留型の流域下水道では全国初めての事例となる桂川右岸流域下水道の雨水対策事業に着手し、すでに平成13年6月より一部の施設を供用開始しております。

今後は、河川事業や流域関連公共下水道事業等との連携により、10年に一度の大雨に対しても浸水被害の解消が図れるように事業を進捗させることとしております。



供用済み区間
平成16年度整備箇所
平成17年度整備箇所
平成16年度以降整備予定

2. 平成17年度の整備内容

平成16年度中に免進立坑工事を完了させ、平成17年度からは第2・第3号管渠のシールド工事に着手する予定。

密集市街地の改善など防災上安全なまちづくり

～萱島東密集整備（大阪府寝屋川市）～

<p>1. 全体概要</p> <p>密集市街地である大阪府寝屋川市萱島東地区は、住宅の大半が高度経済成長期に建設された文化住宅や長屋住宅等の木造賃貸住宅であり老朽化が進んでいます。この地域において、木造賃貸住宅等の建替えにより建物の不燃化促進を図るとともに、幹線道路・主要生活道路等の整備促進、公園や拠点的开发地区の整備により避難空間の確保、消防水利の整備など安全で快適に暮らせる魅力あるまちづくりを支援しています。</p> <p>●平成16年4月13日には都市再生本部で都市再生緊急整備地域の第4次指定がされており、平成17年度には翌年度早期の道路整備着手に向け、老朽建築物の除却、市道萱島3号線、萱島4号線の用地取得を進める予定です。</p>	<p>事業着手 S59年度</p>
<p>○ 整備内容</p> <p>老朽建築物の除却、地区公共施設（道路、公園、下水道等）の整備、共同建替等</p>	<p>事業期間 ～H22年度</p>
<p>2. 平成17年度整備内容</p> <p>住宅市街地総合整備事業</p> <p>：老朽建築物の除却、市道萱島3号線、市道萱島4号線の用地取得、親水公園の整備</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>全体整備計画図</p> <p>重点整備地区</p> <p>京阪萱島駅</p> <p>都計道路萱島河北線</p> <p>拠点的开发地区</p> <p>第二京阪</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>地区の現況</p> <p>改善イメージ</p> <p>(整備済地域より)</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>コーポラティブ住宅等様々な住民参加手法を活用し、住環境の改善を促進。</p> </div>	

福祉社会を支える社会基盤づくり

～自律的移動支援プロジェクト（神戸市）～

●自律的移動支援プロジェクト

○目的

すべての人が持てる力を発揮し、支え合って構築する「ユニバーサル社会」の実現に向けた取り組みの一環として、社会参画や就労などにあたって必要となる移動支援、交通手段、目的地などの情報について、「いつでも、どこでも、だれでも」がアクセスできるネットワークの構築を目的とします。

○内容

道路（点字ブロック）、電柱、住居表示板などに情報提供機器（IC タグ、赤外線、無線 LAN など）を設置し、携帯端末に音声や画像で目的地までの経路や施設などの情報を提供します。

○平成17年度の内容

国内唯一のモデル地区・神戸市においてITを活用した本格的な実証実験を行います。その結果を踏まえ、平成18年度以降全国展開をする予定です。

ITの活用で移動制約の軽減へ
たとえば、自宅では、インターネットで事前情報を案内

目的地へ安心して確実に到着できる環境づくり
たとえば、移動途中では、ICタグなどで場所を案内

外国人の方も言葉の壁を意識せず目的地に行ける環境づくり
たとえば、移動途中では、携帯端末などで場所を案内

平成16年5月26日、イメージデモンストレーションを神戸にて実施。

今年度末、神戸で社会実験を実施予定。



【多文化共生近畿】

～近畿の「文化風土」を活かした地域づくりの推進～

■近畿の歴史的遺産や街並みの保存と整備

- 歴史と文化、世界遺産を活かした街なみ環境整備

《高野山地区（和歌山県高野町）他、紀伊山地の霊場と参詣道》----- P 24

■文化風土を軸とする様々な交流・連携ネットワークの創造

- 歴史的文化を活用した広域連携と情報発信《まちづくり交付金 甲賀駅周辺

地区（滋賀県甲賀町）》----- P 25

- 未知普請活動の推進----- P 26

■美しい近畿づくり

- 公共事業における景観アセスメント（景観評価）システムの確立 P 27

歴史と文化・世界遺産を活かした街なみ環境整備 ～高野山地区（和歌山県高野町）他、紀伊山地の霊場と参詣道～

1. 概要

平成16年7月にユネスコの世界遺産登録を受けた「紀伊山地の霊場と参詣道」に含まれる高野山は、標高千メートル前後の山々に囲まれた盆地にあり、空海の816年開山以来、真言密教の根本道場として連綿たる歴史を重ねてきた聖地です。現在も、金剛峯寺をはじめとする寺院群と町屋群が交互に建ち並ぶ独特の門前町の景観を残しています。

高野山地区においては、今に息づく精神文化を体現する街並みの保全と整備を地域住民と行政が事業主体となり、まちづくり、街なみ環境の整備（地区面積230ha）、ソフト事業を本格的に進めています。

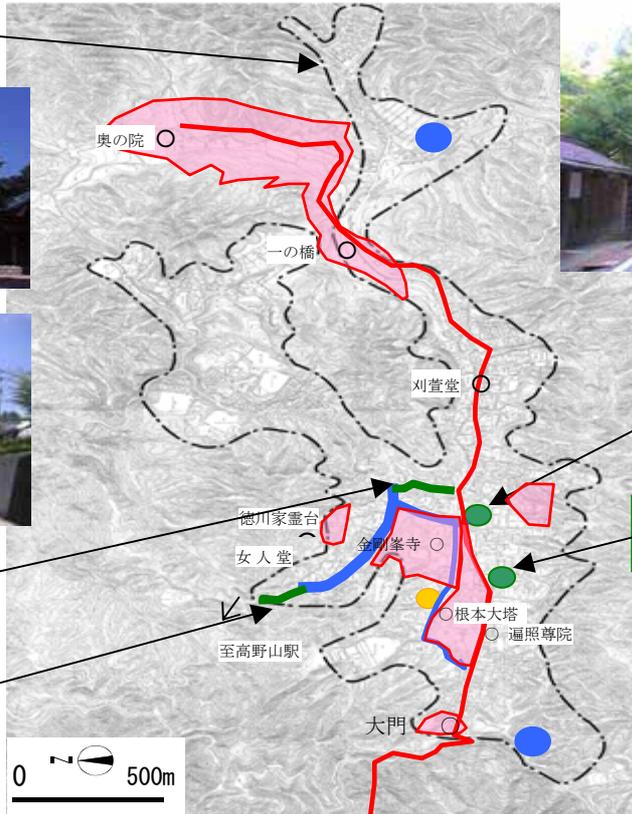
事業着手
H16年度

完成予定
H25年度

2. 平成17年度整備内容

中心部と高野山駅をつなぐ町道等の整備、住宅等の修景施設整備、電線類地中化・無電柱化、歩行者空間・広場緑地等地区施設整備

街なみ環境整備促進区域



住宅等の修景整備 10棟

平成17年度
学校通り 広場緑地整備

平成17年度
文化通り 広場緑地整備

平成17年度
歩行者空間整備
L=400m

平成17年度
電線類地中化
L=300m

凡例	
世界遺産コアゾーン	ピンク
整備済み	黄色
平成17年度	緑
平成18年度以降	青



【活性化方策】

- ◆世界遺産地域にふさわしい川・道の景観づくり
 - 河川の修景整備：河川施設の景観設計等の対策
 - 国道・沿道の修景整備
 - 参詣道の復元整備
- ◆地域の魅力を広く・わかりやすく伝える情報の提供
 - 世界遺産を現地で知らせる案内標識整備：石道など
 - 道の駅での世界遺産情報の提供：タッチパネル式の紹介
 - パンフレット等の作製：「紀伊半島の魅力」など
 - テレビ・ラジオ等を活用した世界遺産と道のPR
- ◆世界遺産を守り、活かす地域の取り組み育成と連携の強化
 - 地域主体のネットワークづくり：熊野川懇談会
 - 三県共同の取り組みの支援：案内標識の統一
 - 「川のみち」熊野川の魅力発見：全国サミット in 十津川

歴史的文化を活用した広域連携と情報発信

～まちづくり交付金 甲賀駅周辺地区（滋賀県甲賀町）～

<p>1. 全体概要</p> <p>歴史や文化を活用した景観形成や、多地域の歴史文化施設や資源とのネットワーク化と、駅へのアクセス機能の向上による周辺拠点との連携強化を図るとともに、全ての人に優しく、質の高い観光のまちづくりを進めます。</p> <p>また、多様なニーズに応じた、情報拠点の形成等、中心市街地の活性化を支援します。</p> <p>●平成17年度は、平成16年度着工の甲賀駅南北自由通路を完成させるとともに、歩行者支援施設等を概成させる予定。</p>	<p>事業着手 平成16年度</p>
	<p>完成予定 平成20年度</p>

整備内容

〈基幹事業〉

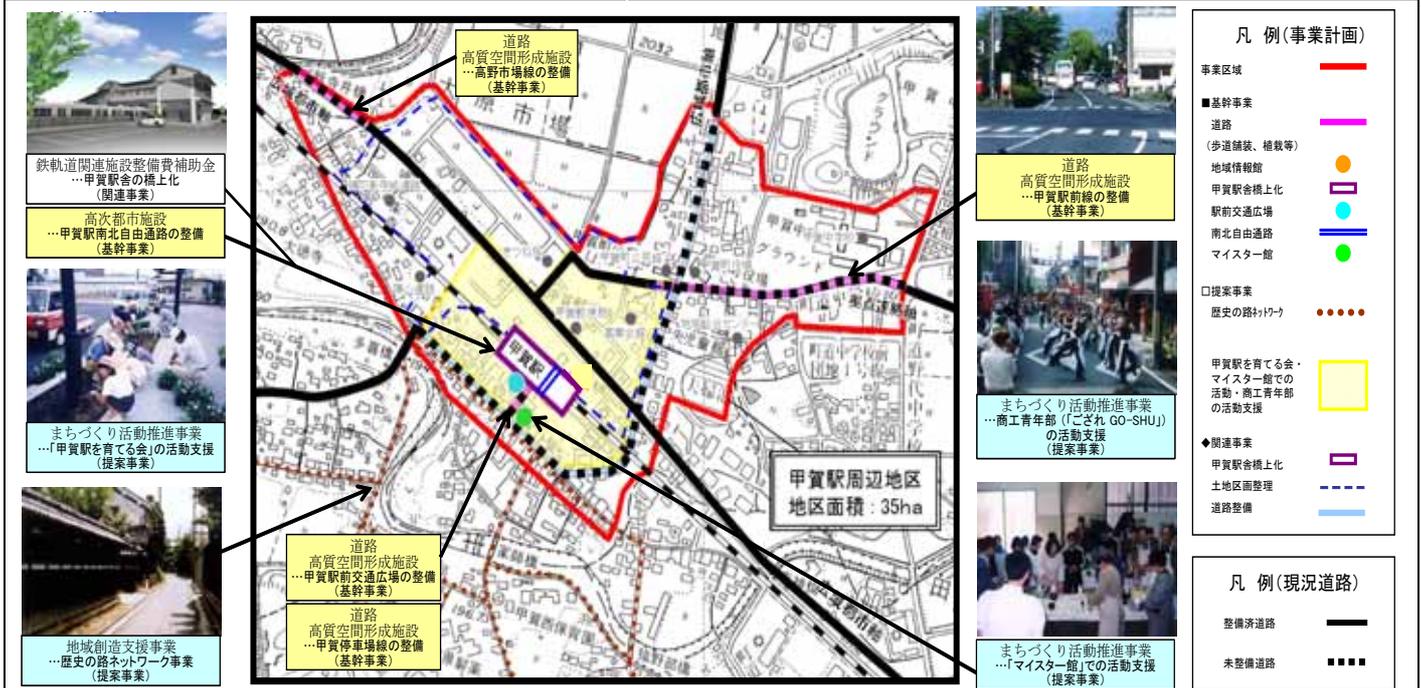
- ・ 道路整備 3路線
- ・ 甲賀駅駅前広場整備
- ・ 甲賀駅南北自由通路
- ・ 緑化施設整備
- ・ 歩行支援施設整備
- ・ 地域情報館
- ・ 既存建造物活用事業（マイスター館）

〈提案事業〉

- ・ 歴史の路ネットワーク事業
- ・ コミュニティ事業
- ・ 「甲賀駅を育てる会」の活動
- ・ 「マイスター館」での活動
- ・ 商工青年部の活動支援

2. 平成17度の整備内容

甲賀駅南北自由通路、歩行者支援施設等（EV2基、多目的便所1ヶ所）、緑化施設等（カラー歩道舗装、照明、植栽、案内板等）、歴史の路ネットワーク事業、コミュニティ事業、「甲賀駅を育てる会」の活動、「マイスター館」での活動、商工青年部の活動支援



未知普請(みちぶしん)活動の推進

社会が成熟し、価値観の多様化が進むなか、公共事業のあり方にも変革が求められています。

鎌倉時代には、「道普請」という言葉が盛んに使われていました。近畿地方整備局では、「道」に「未知」をあて、道路だけでなく河川や公園などの公共施設も含め、未来を切り開く意もこめて、「未知普請」精神を広く育むべく、平成14年度から「対話と協働」、「参加と責任」、「未知への挑戦」の3本柱をもって「未知普請」活動を推進しています。

平成16年度には、第3回 未知普請全国大会を、大阪で開催する予定です。

平成17年度は、引き続き啓発活動を推進するとともに、近畿地方整備局と各府県が緊密に連携し、対話型行政に向け、積極的な活動を推進します。



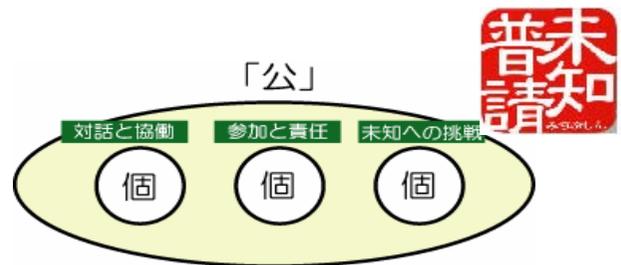
かたづけ・たい (活動場所: 大阪市)



御堂筋清掃ウォーク (活動場所: 大阪市)



落書き消し隊 (活動場所: 滋賀県)



ボランティアサポートプログラム
(袖野花まるロード, 兵庫県山崎町)



地元住民による交通量調査
(くらしみちゾーン登録地区: 下鈞甲自治会
活動場所: 滋賀県栗東市)

公共事業における景観アセスメント（景観評価）システムの確立

全体概要

平成 15 年 7 月に国土交通省が策定した「美しい国づくり政策大綱」では、美しい国づくりのための施策展開として、公共事業における景観アセスメント（景観評価）システムを確立することが位置付けられ、平成 16 年 6 月には、「国土交通省所管公共事業における景観評価の基本方針（案）」が公表されました。

これらを受け、平成 16 年度より、同基本方針（案）に基づき、近畿で 4 件の事業（九頭竜川鳴鹿大堰事業、六甲山系直轄砂防事業〔都市山麓グリーンベルト整備事業〕、大阪湾岸道路〔西伸部〕、大阪港北港南～南港地区道路〔トンネル〕換気所）について、地域の特性に配慮した景観アセスメント（景観評価）の試行実施着手を予定しているところです。

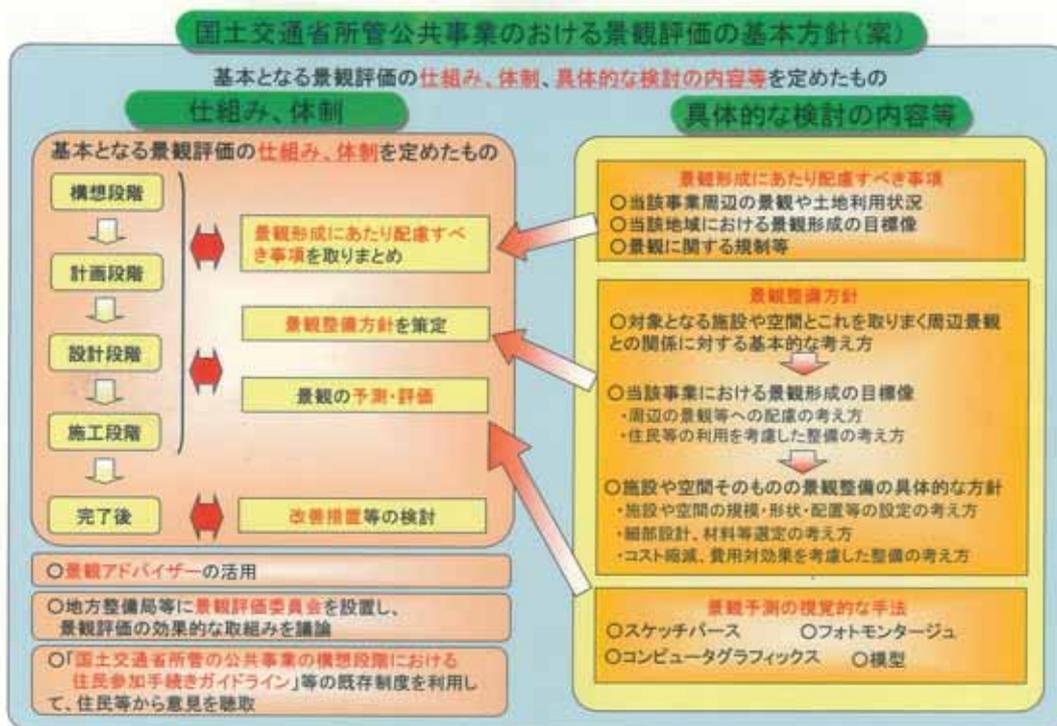
17 年度も、引き続き景観アセスメント（景観評価）の試行実施を行い、本格的運用に向けた手法を検討します。

試行実施

H16～
H17

本格導入

H18～



【エコ近畿】～近畿の環境共生に向けた取り組み～

■未利用地の活用による大阪湾ベイエリアの再生など、都市の環境整備

- 「大阪湾再生プロジェクト」の推進 ----- P 29

- 水と緑のネットワーク整備の推進《六甲山系グリーンベルト、国道43号環境防災緑地、尼崎21世紀の森》 ----- P 30

- 自然と共生する川づくりの推進《コウノトリ野生復帰に向けた円山川の自然再生、淀川鶴殿ヨシ原（ウェットランド）の保全、再生、淀川ワンドの保全・再生》 ----- P 31

- 自然と人との共生を目指した公園整備《国営明石海峡公園神戸地区（兵庫県神戸市）》----- P 32

- 水辺・せせらぎ空間の創造《水と緑の潤い空間、河川と下水道の連携（福井市、京都市、大阪市）》----- P 33

「大阪湾再生プロジェクト」の推進

1. 概要

国や自治体等の関係機関が連携して、森・川・海のネットワークを通じて、美しく親しみやすい豊かな「魚庭（なにわ）の海」を回復し、京阪神都市圏として市民が誇りうる「大阪湾」を創出するための、「大阪湾再生行動計画」を平成16年3月に策定しました。

今後、目標達成のため関係機関が広域に連携し、大阪湾の集水域及び海域で各種の改善施策を行い、効果の的確な把握のためモニタリング施策を行います。



水と緑のネットワーク整備の推進

～六甲山系グリーンベルト、国道43号環境防災緑地、尼崎21世紀の森～

概要

近畿地方整備局では、阪神淡路大震災の教訓や環境対策への重要性を踏まえ、災害時の対応や防災、環境対策として「六甲山系グリーンベルト」、「一般国道43号環境防災緑地」、「尼崎21世紀の森構想」を推進し、阪神地域を魅力あるまちに再生するため、ゆとりと潤いをもたらす水と緑豊かな自然環境の創出による環境共生型の地域づくりを推進します。

なお、「尼崎21世紀の森構想」は、都市再生プロジェクト（第3次決定）において、「大都市圏における都市環境インフラの再生（臨海部における緑の拠点の形成）」に位置づけられています。

事業着手
H8年度

完成予定
—

平成17年度の要求内容

・「尼崎21世紀の森構想」では、拠点地区である尼崎の森中央緑地の整備を、「六甲山系グリーンベルト」では、都賀川以西の用地買収に着手し、「国道43号環境防災緑地」では、用地取得と植栽整備を推進します。



六甲山系グリーンベルト構想(イメージ)



一般国道43号環境防災緑地(イメージ)



尼崎21世紀の森構想(イメージ)

自然と共生する川づくりの推進

～地域と連携したコウノトリ野生復帰に向けた円山川の自然再生、
淀川鵜殿ヨシ原の保全・再生、淀川ワンドの保全・再生～

●地域と連携した取り組み

ーコウノトリも共生する河川環境の再生 円山川

○概要

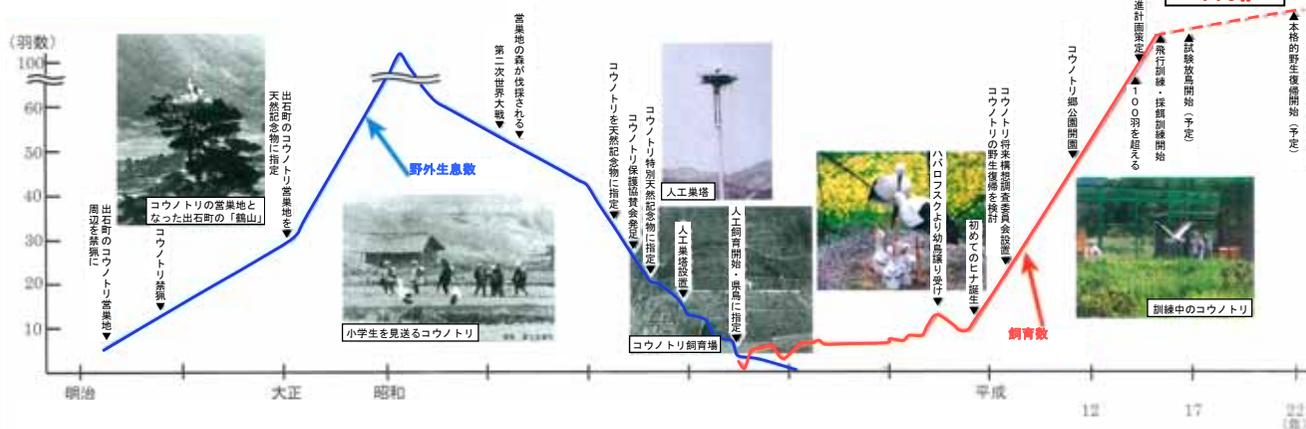
兵庫県但馬の地で生息する野生のコウノトリが絶滅して30年余が経過しますが、地域をあげてコウノトリの保護増殖への取り組み、豊かな自然を守り育てる様々な活動が展開されています。

関係機関・地元が一体となり策定した「コウノトリ野生復帰推進計画」(平成15年3月策定)等に基づき、平成17年度開始予定の試験放鳥にあわせて、円山川水系においてコウノトリの生息環境をはじめ、沿川における生物の多様性を確保する、自然と共生する川づくりをめざした自然再生事業に取り組みます。

○平成17年度の整備内容

円山川において、多様な生物が生息できるような環境を保全・再生することを目標として、河道内湿地の生物モニタリングを行い、湿地の再生を実施します。

《コウノトリ保護・増殖の歴史》



[円山川に舞い降りた野生のコウノトリ]



[湿地再生の状況]

●淀川鵜殿ヨシ原の保全・再生

○平成17年度の整備内容

ヨシ原を保全するための植生調査や高水敷の切下げを引き続き実施します。



鵜殿のヨシ原保全地区(大阪府高槻市)

●淀川ワンドの保全・再生

○平成17年度の整備内容

天然記念物イタセンパラの生息環境を保全・再生します。城北ワンド群を構成する赤川地区のワンド再生、既設ワンドのモニタリング調査を引き続き実施します。



城北ワンド群

自然と人との共生を目指した公園整備

～国営明石海峡公園神戸地区(兵庫県神戸市)～

1 概要

本公園は、神戸市北区、西区に跨る「神戸地区」と淡路島の淡路町、東浦町に跨る「淡路地区」の2地区からなる公園である。「神戸地区」は、神戸市の「しあわせの村」、「文明博物館群公園」と一体となり約500haの都市公園を形成している。「神戸地区」においては、良好な里山の自然環境に立地しており、里山を守り育てながら身近な森としての活用を図ることを基本として、平成11年度より市民参加による公園づくりに着手し、平成14年度からは藍那口の工事用進入路等の整備を図っているところである。

●平成17年度は、白川口からの進入路等に着手する予定。

事業着手
H5年度

完成予定
未定

・淡路地区
H13年度一部開園済み

○ 整備概要

- 事業主体 : 直轄(国土交通省)
- 区域面積 : 330ha(淡路地区 96.1ha、神戸地区 233.9ha)
- 公園施設 : 園路、広場、遊具、棚田、宿泊施設等

2 平成17度の整備概要

- ・神戸地区 棚田ゾーンの施設整備、林間宿泊ゾーンの工事用進入路整備等
- ・淡路地区 海岸ゾーンの施設整備等



水辺・せせらぎ空間の創出

～水と緑の潤い空間、河川と下水道の連携（福井市・京都市・大阪市）～

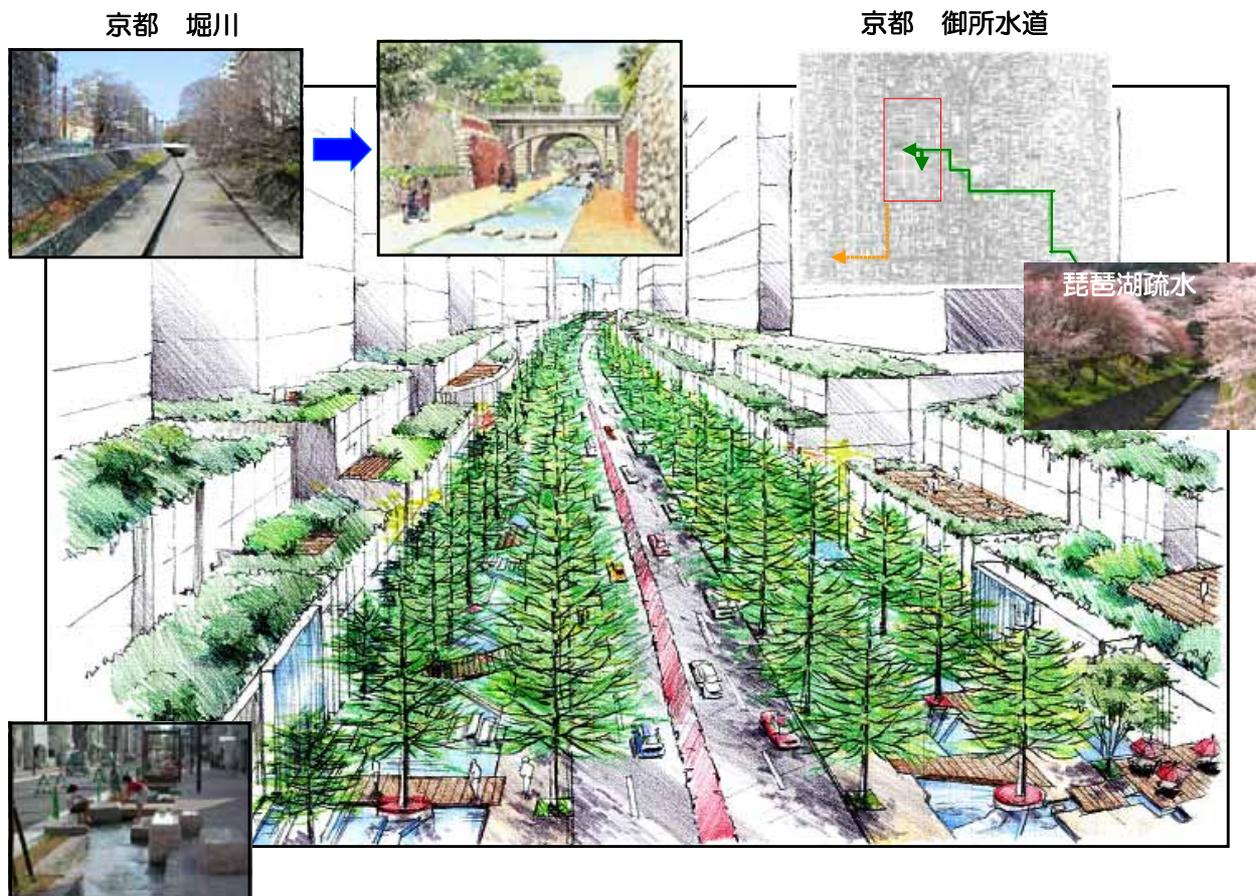
◇都市における潤い水辺空間の創出

○ 現代の都市は、高度成長期に水路を暗渠化、埋め立てして、高度な土地利用を可能とし、機能的な都市空間を生み出してきました。
近年、都市再生の中で潤いのある都市空間の創造として水路が注目され、水路、水面の復活について様々な活動が取り組まれています。

○都市水路の機能
水と緑の潤いのあるオープンスペースとして自然空間を形成する機能、
周辺と一帯となって魅力的でにぎわいのある空間創出機能
災害時の防災機能

○取り組み
水辺空間の創造、下水高度処理水の活用、河川用水等の活用

<今後の取組み例>



新規要求箇所（直轄）

河川	高規格堤防整備事業（大和川）	大阪府堺市	大和川線（三宝 地区）
		大阪市平野区	瓜破西地区
営繕		兵庫県水上郡柏原町	柏原地方合同庁舎（敷地調査）
港湾	港湾事業費	神戸市中央区	神戸港P I 第 期地区国際海上コンテナターミナル整備事業
		大阪市此花区	大阪港北港南地区国際海上コンテナターミナル整備事業

新規要求箇所（補助）

都市整備	都市公園事業	福井県武生市	丹南地域総合公園
		大阪府大阪市	住之江公園
		兵庫県姫路市	阿保周辺地区
		兵庫県姫路市	英賀保駅周辺地区
		兵庫県赤穂市	塩屋地区
		兵庫県出石町	出石町公園
		奈良県明日香村	明日香村近隣公園
		奈良県新庄町	新庄南部地区
		和歌山県海南市	海南中央公園
		和歌山県那智勝浦町	那智勝浦海浜公園
		京都市	淀城跡公園
	京都市	右京東部地区	
	下水道事業	兵庫県	市川町特定環境保全公共下水道
住宅整備	住宅市街地総合整備事業	兵庫県神戸市・明石市	明石舞子団地地区
	市街地再開発事業	和歌山県和歌山市	けやき大通り第7地区
	公営住宅等整備事業	大阪府高槻市	高槻芝生団地
	住宅地区改良事業	大阪府大阪市	大阪市東南部等地区
	住宅市街地基盤整備事業	滋賀県栗東市	栗東新都心地区
	街なみ環境整備事業	大阪府大阪市	空堀地区

完了要求箇所

都市整備	土地区画整理事業	東舞鶴駅周辺地区、祝園駅西地区、石田地区、大井町西部地区（京都市）	補助
		大阪滝華都市拠点地区（大阪府）	
		西宮北口駅北東地区、飾磨拠点地区、中筋J R北地区、垣内津市場地区、西二見地区（兵庫県）	

		伏見西部第四地区（京都市）	
	市街地再開発事業	三日市町駅前西地区、J R高槻駅北地区（大阪府） 六甲道駅南地区（神戸市）	
	まちづくり交付金	北部地区（福井県） 堅田湖岸地区、守山駅周辺地区、貴生川駅周辺地区、八日市駅東地区、彦根駅東部地区（滋賀県） 祝園駅西地区、福知山駅周辺地区、長岡京駅西口地区（京都府） 長曾根・中百舌鳥地区、北野田駅前地区、島地区、阪急上牧駅北地区、栄本町地区、（大阪府） 三田駅前地区、川西能勢口駅東地区、大屋地区、J R土山駅周辺地区、阿保地区、富島地区、北条駅周辺地区（兵庫県） 香芝中和地区、五位堂南地区、法隆寺周辺地区、王寺駅周辺地区、（奈良県） 洛中地区（京都市） 三国地区（大阪市）	
	都市公園	千鳥ヶ丘公園（滋賀県） 弾正公園（滋賀県） 綾部総合運動公園、東舞鶴公園、西山公園、園部 I C 周辺地区（京都府） 前山緑地、枚方南部地区、（大阪府） 室生山上公園（奈良県） 根来公園墓地（和歌山県） 扇町公園、靱公園（大阪市） 神戸総合運動公園（神戸市）	
住宅 整備	住宅地区改良事業	島地区（和歌山県御坊市） 三条地区 他（京都市） 上池西地区 他（神戸市）	
	住宅市街地基盤整備事業	長岡京駅西口市街地再開発（京都府長岡京市） 南大和田園都市牧野 A 地区（奈良県五條市）	
	公営住宅等整備事業	岸和田下池田団地（大阪府岸和田市）	
	住宅市街地総合整備事業	弁天 1 丁目地区、湊町 1 丁目地区（大阪市）	
	街なみ環境整備事業	城崎温泉地区、北条地区（兵庫県）	
	河川	高規格堤防事業	淀川大庭地区（守口市） 淀川牧野北地区（枚方市） 淀川江川地区（島本町）
	統合準用河川改修事業	見出川（大阪府熊取町）	補助
	〃	大坪川（和歌山県海南市）	

広域一般河川改修事業	大浜川（兵庫県豊岡市）
都市基盤河川改修事業	朝霧川（兵庫県明石市）
床上浸水対策特別緊急事業	葛下川（奈良県香芝市）
堰堤修繕事業	広野ダム（福井県）
通常砂防事業	番清水川（福井県今立郡今立町）
	保黒川（滋賀県甲賀郡甲西町）

供用開始予定箇所

都市整備	公共下水道事業	安堵町・斑鳩町の公共下水道の供用開始（奈良県） 美浜町公共下水道の供用開始（和歌山県）	補助
	街路事業	蛭池西側線、岸和田港福田線（別所地区）（大阪府）	
		今津西線、今津西線（電共）、JR 山陽本線等（加古川）（兵庫県）	
		俵口上線（奈良県）	
		田辺出戸線（長吉出戸）（大阪市）	
		春日野道駅地区（HAT 春日野北線（自由通路））、 春日野道駅地区（HAT 春日野南線） 新交通専用道 2，5号線、新交通専用道5号線（神戸市）	
道路	高規格幹線道路	京奈和自動車道・大和御所道路 郡山南 I C ~ 橿原北 I C （奈良県）	直轄
		京奈和自動車道・五條道路 五條北 I C ~ 奈良・和歌山県境 （奈良県）	
		京奈和自動車道・橋本道路 奈良・和歌山県境 ~ 高野口 I C （和歌山県）	
	地域高規格道路	一般国道 1 6 3 号 清滝生駒道路（清滝区間）（大阪府）	
	一般国道	一般国道 1 7 5 号 平野拡幅 （兵庫県）	
	共同溝	一般国道 1 号 京都南第 3 共同溝 （京都府）	
		一般国道 1 号 堀川共同溝 （京都府）	
	補助国道(地域高規格)	一般国道 1 6 8 号 宇宮原バイパス （奈良県）	補助
		一般国道 1 6 8 号 熊野川・本宮道路（和歌山県）	
	補助国道（一般）	一般国道 1 5 8 号 長野拡幅 （福井県）	
		一般国道 3 0 7 号 信楽道路・黄瀬工区（滋賀県）	
		一般国道 4 7 7 号 殿谷道路 （京都府）	
		一般国道 1 7 6 号 鐘ヶ坂バイパス （兵庫県）	
		一般国道 4 7 7 号 黒川拡幅 （兵庫県）	
		一般国道 4 2 6 号 豊岡バイパス （兵庫県）	
一般国道 3 6 9 号 掛拡幅 （奈良県）			

	一般国道168号 丸瀬道路 (奈良県)
	一般国道369号 大保拡幅 (奈良県)
	一般国道424号 打田～桃山バイパス (和歌山県)
	一般国道480号 須谷バイパス (和歌山県)
地方道	一般県道 北舟木勝野線 (滋賀県)
	主要地方道 綾部大江宮津線 (京都府)
	市道 奈良坂南田原線(北大和駅前広場) (奈良県)
	市道 春日出線(春日出橋) (大阪市)

[2] 各部の基本方針・重点事項の概要

1) 都市・住宅関係（直轄・補助）の概要

1. 近畿の都市・住宅整備の基本方針

我が国の都市は、災害に対する脆弱性、交通渋滞など20世紀の負の遺産と言える課題が山積しており、近畿においても、京都・大阪・神戸をはじめとする都市を21世紀にふさわしい、安全で快適な、さらに経済活力に満ちあふれた都市に再生していく必要がある。

また、少子・高齢化、環境問題の深刻化等の中で、近畿の財産である固有の歴史、文化や自然を活かした美しい近畿を創造していく必要がある。

これらに基づき、以下のテーマに重点的に取り組むこととする。

【重点的に取り組むテーマ】

- (1) 都市の再生 - 都市の魅力と国際競争力
- (2) 個性と工夫に満ちた地域社会
- (3) 公平で安心な高齢化社会・少子化対策
- (4) 循環型経済社会の構築・地球環境問題への対応
- (5) 近畿の歴史・文化・自然を踏まえた美しい近畿の創造

特に都市再生本部決定の都市再生プロジェクトや都市再生特別措置法に基づく都市再生緊急整備地域等に関連する事業を重点的に支援する。

これらに取り組むにあたっては、地域住民や地方公共団体の自主性・主体性を尊重しつつ、各地域の特性を活かしたまちづくりを進めるため、

- ◆ 国と地方の適切な役割分担の下、ハード、ソフトを問わずあらゆる施策、事業を戦略的に組み合わせる
- ◆ また、地域住民、NPO等の民間主体をまちづくりの担い手として積極的に位置づけ、官民のパートナーシップづくりに努める

こととする。

2. 重点的に取り組むテーマ

(1) 都市の再生 - 都市の魅力と国際競争力

関西の経済を再生するためには、活力の源泉でもある「都市」について、都市の魅力と国際競争力を高めるため必要な支援を行います。

- ◆ 民間活力向上のための交通基盤の整備・・・・・・・・・・・・・・・・（整備局版 参照）
・南海本線（堺市）連続立体交差事業
- ◆ 空港アクセス交通基盤の整備・・・・・・・・・・・・・・・・（整備局版 参照）
・神戸新交通ポートアイランド線延伸

- ◆ 都市再生緊急整備地域における戦略的都市整備の推進・・・・・・・・・・ (建政部 - 3参照)
 - ・大阪駅北地区の整備・御堂筋周辺地区の再生
 - 平成17年度は、土地区画整理事業として埋設物の移設、電線共同溝の設置を行う予定です。
- ◆ 密集市街地の緊急整備による安全・安心なまちづくり・・・・・・・・・・ (建政部 - 4参照)
 - ・寝屋川市萱島東地区の密集市街地整備
 - 平成17年度は、翌年度早期の道路整備着手に向けた老朽建築物の除去、道路用地取得等を行います。
- ◆ 大阪湾再生プロジェクトの推進（高度処理の推進）・・・・・・・・・・ (建政部 - 5参照)
 - ・京都府木津川流域下水道
 - 平成17年度は、下水道の普及促進に伴う水処理施設（高度処理対応）の増設において、平成19年度末供用に向けた施設整備を図る予定です。
- ◆ 豊かな環境の回復・創造を基調とした都市再生への森づくり・・・・・・・・ (建政部 - 6参照)
 - ・尼崎21世紀の森
 - 平成17年度は、平成18年秋に開催される「のじぎく兵庫国体」に向け、屋内プール（スポーツ健康増進施設）を概成させる予定です。

(2) 個性と工夫に満ちた地域社会

個性と工夫に満ちた地域社会の実現のため必要な支援を行います。

- ◆ ライフサイエンス等の科学技術振興を支える都市基盤の整備・・・・・・・・ (整備局版 参照)
 - ・彩都[国際文化公園都市]の都市基盤整備
- ◆ 連続立体交差事業等を中心とした市街地の活性化と文化機能の強化・・・・ (整備局版 参照)
 - ・福井駅付近連続立体交差事業等
- ◆ 一体的施行によるまちづくりの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (建政部 - 7参照)
 - ・太秦東部地区
 - 平成17年度は、引き続き道路の整備・地下鉄整備等を行うとともに、再開発事業による施設建築物の整備に着手します。

(3) 公平で安心な高齢化社会・少子化対策

誰もが公平で安心に暮らせる社会実現のために必要な支援を行います。

- ◆ 複合施設による世代を超えた多様な交流の促進・・・・・・・・・・・・ (整備局版 参照)
 - ・鯖江市の特定公共賃貸住宅整備
- ◆ 多世代快適交流空間の整備推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (建政部 - 8参照)
 - ・温泉町まちづくり交付金
 - 平成17年度は、引き続き交流広場の整備と回遊ルート of 整備を行う予定です。

(4) 循環型経済社会の構築・地球環境問題への対応

大阪湾を含めた大都市圏の生態系の回復、自然とのふれあいの場の提供に必要な支援を行います。

- ◆ 水の都大阪の水環境を改善するための下水道整備の推進・・・・・・・・ (整備局版 参照)
 - ・大阪市公共下水道事業
- ◆ 古代琵琶湖の環境の復元・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (建政部 - 9参照)
 - ・琵琶湖下水道事業
 - 平成17年度は、下水道の普及促進のため管渠整備を引き続き進めるとともに、東北部浄化センターの水処理能力の向上と溶融炉設備の供用開始など浄化センターの施設整備を進める予定です。

(5) 近畿の歴史・文化・自然を踏まえた美しい近畿の創造

近畿の歴史・文化・自然を踏まえた美しい近畿を造るため必要な支援を行います。

- ◆ 歴史的文化を活用した広域連携と情報発信・・・・・・・・・・・・ (整備局版 参照)
 - ・甲賀町まちづくり交付金
- ◆ 歴史と文化を活かした街並みの環境整備・・・・・・・・・・・・ (整備局版 参照)
 - ・高野山地区街なみ環境整備
 - 自然と人との共生を目指した公園整備・・・・・・・・・・・・ (整備局版 参照)
 - ・国営明石海峡公園神戸地区
- ◆ 歴史資産を活かした賑わい・交流の拠点となる公園整備・・・・・・・・ (建政部 - 10参照)
 - ・大阪城公園
 - 平成17年度は、大手前地区・城南地区を中心に整備に着手し、平成18年3月から大阪城公園を中心に開催する全国都市緑化大阪フェアの会場計画とも連携した公園整備を進める予定です。

(1) 都市の再生 - 都市の魅力と国際競争力

都市再生緊急整備地域における戦略的都市整備の推進

大阪駅北地区の整備 ～西日本の新たな国際都市拠点の形成～（大阪市）

都市再生緊急整備地域

1. 概要

梅田貨物駅を中心とする大阪駅北地区は、西日本最大の交通ターミナルであり、京阪神都市圏の諸都市や新幹線・国際空港と30分～1時間で結ばれる交通拠点です。また、地区周辺では民間投資が進捗し、まちづくりのポテンシャルが高い地域でありながら、貨物駅等の低密度の土地利用や貨物線等による地域分断により幹線道路ネットワークの形成が不十分であることなど、土地利用や都市基盤施設上の課題があります。

そのため、この地区の優位性を活かし関西経済の活性化や都市魅力の創出に向けた都市機能の導入、それに必要な都市基盤施設の検討し、国際的な企業の集積や新産業の立地の支援、日本の国際競争力の強化、関西の都市再生を担う拠点の形成を目指すものです。

平成17年度は、土地区画整理事業として埋設物の移設、電線共同溝の設置を行う予定です。

2. 事業内容

・大阪駅北大深東地区土地区画整理事業（A＝7.0ha）

3. H17事業内容

埋設物移設、電線共同溝設置

4. 参考

- H15. 3 国際コンセプトコンペを実施し、審査結果発表
- H15. 10 「大阪駅北地区全体構想」策定
- H16. 3 「大阪駅北地区まちづくり推進協議会」発足
- H16. 4 「大阪圏における生活支援ロボット産業拠点の形成」が都市再生プロジェクトに位置付け
- H16. 7 「大阪駅北地区基本計画」策定



御堂筋周辺地区の再生 ～関西の顔となるにぎわいの復活～（大阪市）

都市再生緊急整備地域

1. 概要

大阪のメインストリートである御堂筋は、大阪市の中央部に位置し業務・商業・文化面にわたり大阪の中核機能を担っていますが、人が集える、楽しめる空間の不足や夜間の無人化など様々な課題があり、沿道の活気が急速に失われつつあります。

このような課題に対処するため、民間団体のまちづくり活動が高まる中、業務・商業等の機能の高度化した集積地を形成するソフト・ハード施策による御堂筋活性化の取り組みの支援を行います。

平成17年度は、昨年度に引き続き橋梁の架け替え等を行うとともに、地下通路・エレベータの整備を行い歩行支援施設を完成させる予定です。

2. 事業内容

まちづくり交付金：面積（71ha）、事業期間（平成14年度～平成18年度）

3. 事業主体

大阪市（補助）

4. H17事業内容

ソフト事業：まちづくり活動の支援（民間団体）

ハード事業：橋梁架け替え（戎橋・新戎橋・相合橋）、橋梁新設（道頓堀川人道橋（仮称））
地下通路・エレベータの整備（長堀地区）

5. 連携事業

道頓堀川水辺整備事業

6. 参考

- H15. 2 心斎橋1丁目地区を都市再生特別地区として都市計画決定
- H15. 12 心斎橋1丁目地区着工

(1) 都市の再生 - 都市の魅力と国際競争力

密集市街地の緊急整備による安全・安心なまちづくり

寝屋川市萱島東地区の密集市街地整備（大阪府寝屋川市）

都市再生プロジェクト(第三次決定)【密集市街地の緊急整備】

1. 概要

密集市街地である大阪府寝屋川市萱島東地区は、高度経済成長期の昭和40年前後に大阪都市圏への流入人口の受皿として大量の住宅が建設されました。それら文化住宅や長屋住宅等の木造賃貸住宅の老朽化、空き家の増加に伴い、住環境の悪化が進んでいます。また、幹線道路や主要生活道路、公園・広場が未整備であり防災上も危険な状態となっています。

このような課題を解消するために、木造賃貸住宅等の建替えにより建物の不燃化促進を図るとともに、幹線道路・主要生活道路等の整備促進、公園や拠点的开发地区の整備により避難空間の確保、消防水利の整備など安全で快適な暮らせる魅力あるまちづくりを支援しています。平成16年4月13日には都市再生本部で都市再生緊急整備地域の第4次指定がされています。

平成17年度は翌年度早期の道路整備着手に向けた老朽建築物の除去、道路用地取得等を行います。

2. 計画内容

事業主体：寝屋川市
地区面積：約48.7ha
事業期間：昭和59年度～平成22年度

住宅市街地総合整備事業
老朽建築物の除却、地区公共施設
(主要生活道路、緑道、親水公園、街かど広場等)の整備、共同建替等

3. 平成17年度整備内容

住宅市街地総合整備事業：老朽建築物の除却、市道萱島3号線・市道萱島4号線整備（用地取得）、親水公園の整備

概要図



地区の現況



完成した親水公園



(1) 都市再生 - 都市の魅力と国際競争力

大阪湾再生プロジェクトの推進（高度処理の推進）

京都府木津川流域下水道（京都府）

都市再生プロジェクト（第三次決定）【大都市圏における都市環境の再生】

1. 概要

大阪湾・淀川に流入する下水処理水は、水道水源の水質保全や大阪湾の富栄養化防止のため、標準的な下水処理では除去できない窒素、リン等を取り除くための高度処理を実施する必要があります。

京都府の洛南浄化センターでは大阪湾・淀川流域別下水道整備総合計画（H16同意予定）に基づいて高度処理を実施しており、今後は高度処理の計画策定以前に整備した水処理施設の改築も実施することとしています。

今後とも汚濁負荷の削減に向けて高度処理を実施することにより、大阪湾の環境基準達成に寄与していきたいと考えています。

平成17年度は、下水道の普及促進に伴う水処理施設（高度処理対応）の増設において平成19年度末供用に向けた施設整備を図る予定です。

2. 整備内容

- ・既存の水処理施設の高度処理対応への改造
- ・普及促進により増大する汚水流入に対応する水処理施設（高度処理対応）の増設

3. 平成17年度整備内容

- ・洛南浄化センターの水処理施設増設工事（機械・電気）



洛南浄化センター

(1) 都市再生 - 都市の魅力と国際競争力

豊かな環境の回復・創造を基調とした都市再生への森づくり

尼崎 21世紀の森 (兵庫県尼崎市)

都市再生プロジェクト (第三次決定)

[大都市圏における都市環境インフラの再生]

1. 事業概要

本緑地は、兵庫県尼崎市の臨海部に位置し、「都市再生プロジェクト (第3次)」にも選定されている『尼崎 21世紀の森構想』におけるパイロットプロジェクトとして先導的な森づくりの核となるものであり、構想においては、「健康文化の森」、「自然とのふれあいの森」が想定されており、尼崎の森中央緑地の都市緑地 (都市公園事業) は、豊かな自然環境の中でレクリエーション、スポーツを通じた健康づくりや、人々が楽しく遊び、ふれあうことのできる交流の森づくりを進めていきます。また、港湾緑地事業とも連携した公園事業を進めてまいります。

平成17年度は、平成18年秋に開催される「のじぎく兵庫国体」に向けて、屋内プール (スポーツ健康増進施設) を概成させる予定です。

2. 整備内容 (都市緑地)

事業主体 : 兵庫県 (補助)

区域面積 : 18.9 ha

事業期間 : 平成15年 ~ 平成27年

公園施設 : 水泳プール、健康運動施設、園路広場、植栽等

3. 平成17年度整備概要

用地買収 (公管金)

スポーツ健康増進施設 (プール等) 建設

人が交わる森 (交流広場のイメージ)



尼崎の森中央緑地



(2)個性と工夫に満ちた地域社会

◆一体的施行によるまちづくりの推進 太秦東部地区(京都市)

1. 事業概要

本地区は京都市北西部に位置しており、地下鉄東西線の西伸にあわせ、終端点となる天神川駅(仮称)において右京区の交通結節点としての拠点地区を形成すべき地域であると同時に、防災上危険なスプロール市街地の再整備が望まれる地域です。

このため、土地区画整理事業と再開発事業との一体的施行により、駅前広場、道路、公園等の公共施設を整備し、公共交通の利便性を向上するとともに、公共公益施設を一体的に整備し賑わいのある都市空間の創出を図るものです。

平成17年度は、昨年度に引き続き道路整備・地下鉄整備等を行うとともに、再開発事業による施設建築物の整備に着手します。

2. 計画内容

	区画整理	市街地再開発	街路整備	まちづくり交付金
事業主体	京都市	京都市	京都市	京都市
地区面積	A=5.2ha	A=0.9ha	L=202m	A=5.2ha
事業期間	H14～H20	H15～H20	H16～H19	H17～H20

3. H17整備内容

区画整理：駐輪場整備，都市計画道路整備，区画道路整備

市街地再開発：施設建築物整備

街路整備：地下鉄東西線整備

4. 整備図



(3) 公平で安心な高齢化社会・少子化対策

多世代快適交流空間の整備推進

温泉町まちづくり交付金（兵庫県温泉町）

1. 事業概要

温泉町湯地区は、NHKのテレビドラマ「夢千代日記」の舞台となったことから「夢千代の里・湯村温泉」として脚光を浴び「夢千代」を軸にまちづくりが進められてきました。しかし、平成3年を境に「夢千代」ブームも去り、更には景気の低迷も拍車をかけ、宿泊者数の減少が顕著に表れ、現在、平成3年のピーク時に比べると10万人少ない状況となっています。

そこで、賑わいの再生を図るため、高齢者から若年者までが快適かつ利便性に富んだ暮らしが出来るよう また、観光客が長期に滞在できるようにまちづくり交付金を活用した、「情緒ある湯のまち」としてふさわしい“ふれあい”と“やすらぎ”のある河川環境整備 温泉町の活性化に寄与するユニークで魅力的な観光・交流の拠点施設整備 湯村温泉の回遊ルートの整備を行います。

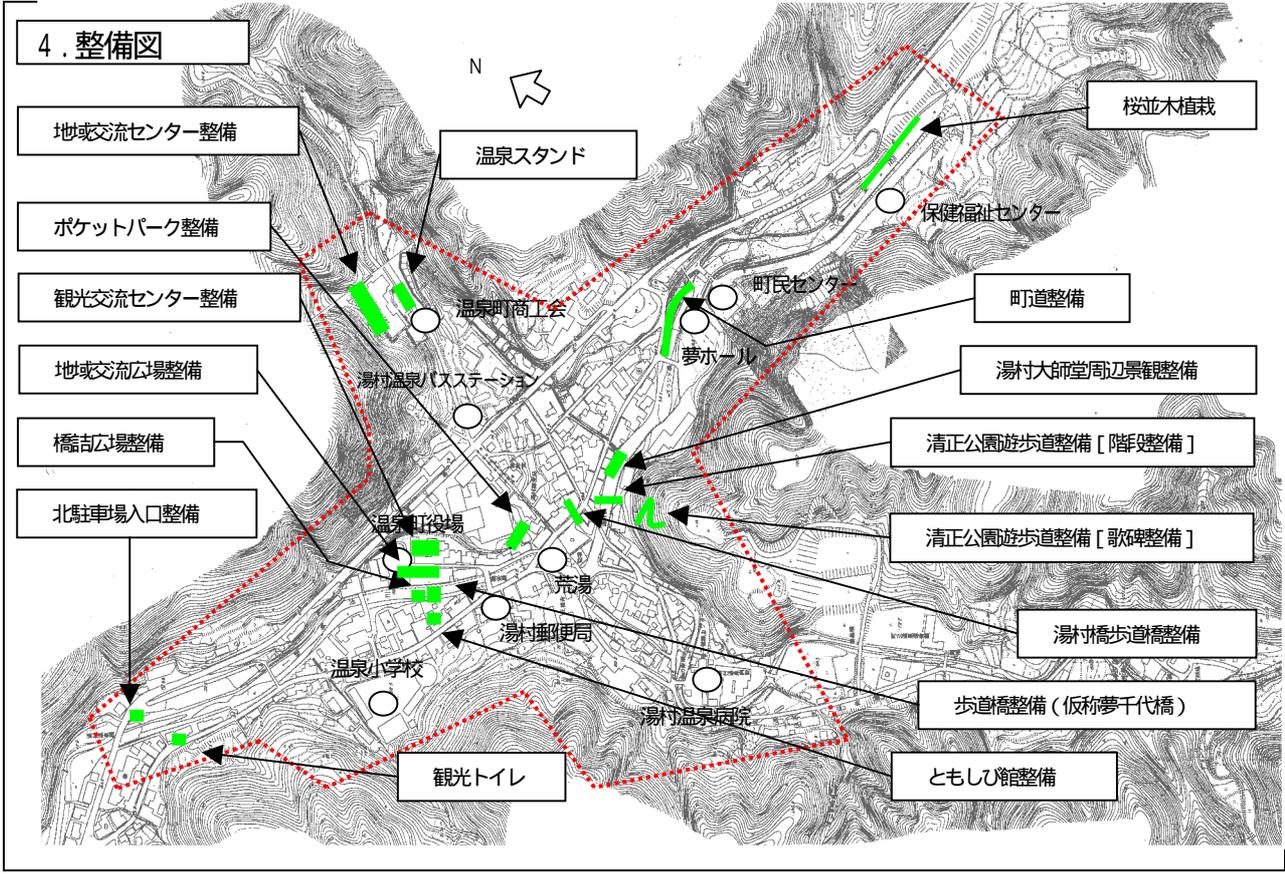
平成17年度は、昨年度に引き続き交流広場として「橋詰広場」の整備と回遊ルートとなる「清正公園遊歩道整備」「町道整備」を行う予定です。

2. 計画内容(まちづくり交付金)

- 事業主体：温泉町
- 地区面積：A = 20ha
- 事業期間：平成16年度～平成20年度

3. H17整備内容

橋詰広場整備、清正公園遊歩道整備、町道整備



(4) 循環型経済社会の構築・地球環境問題への対応

古代湖琵琶湖の環境の復元

琵琶湖下水道事業（滋賀県）

都市再生プロジェクト（第六次決定）【琵琶湖・淀川流域圏の再生】

1. 概要

琵琶湖の水質は下水道整備や事業所排水の規制などの対策により近年、ほぼ横這い状況となっています。しかし、CODではやや漸増傾向にあり平成15年度には3年ぶりに淡水赤潮が発生し、全般的には予断を許さない状況にあり、さらなる対策が必要です。

そこで滋賀県では、琵琶湖流域下水道とその関連公共下水道、ならびに単独公共下水道の整備促進を図り、他の污水处理施設の整備と相まって2010年度污水处理施設整備率100%を目指します。また、琵琶湖への流入汚濁負荷の削減を図るため下水道の高度処理を推進するとともに、ノンポイント対策として市街地排水浄化対策事業にも取り組みます。

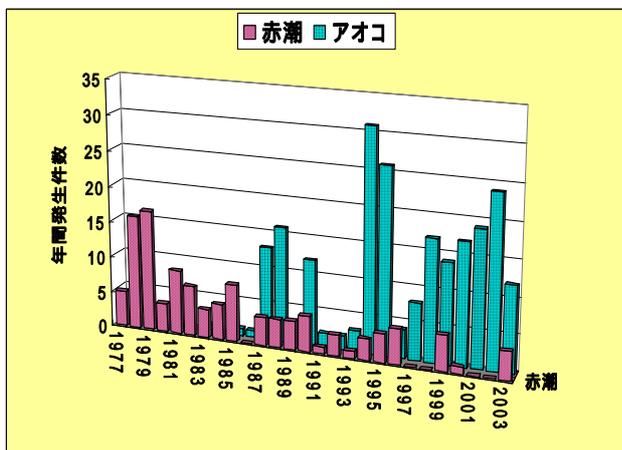
これにより、2010年度の琵琶湖への流入汚濁負荷量を昭和40年代前半の値にまで削減するマザーレイク21計画の達成を目指します。

平成17年度は、下水道の普及促進のため管渠整備を引き続き進めるとともに、東北部浄化センターの水処理能力の向上と溶融炉設備の供用開始など浄化センターの施設整備を進める予定です。

2. 平成17年度整備内容

管渠の整備、ポンプ場の整備

- ・ 甲西南幹線石部1工区ほか14工区、南大萱ポンプ場ほか2箇所浄化センターの整備
- ・ 湖南中部浄化センターほか3浄化センターでの施設整備
ノンポイント対策
- ・ 山寺川市街地排水浄化施設モニタリング調査



東北部浄化センター

(5) 近畿の歴史・文化・自然を踏まえた美しい近畿の創造 歴史的資産を活かした賑わい・交流の拠点となる公園整備 大阪城公園（大阪市）

1. 事業概要

「大阪城 - 難波宮跡エリア」は大阪の緑・歴史・文化資源の集積地であり、今後、それら多くの資源を活用・保全した大阪の個性を活かした「大阪を代表する風格ある歴史・文化エリア」へのさらなる発展が求められています。

そうした背景をもとに、大阪城公園では、緑・歴史・文化資源を保全・活用した観光振興に資する公園の再整備に、平成16年度から着手します。

平成17年度は、大手前地区・城南地区を中心に整備に着手し、平成18年3月から大阪城公園を中心に開催する全国都市緑化大阪フェアの会場計画とも連携した公園整備を行う予定です。

2. 事業内容

所在地：大阪市

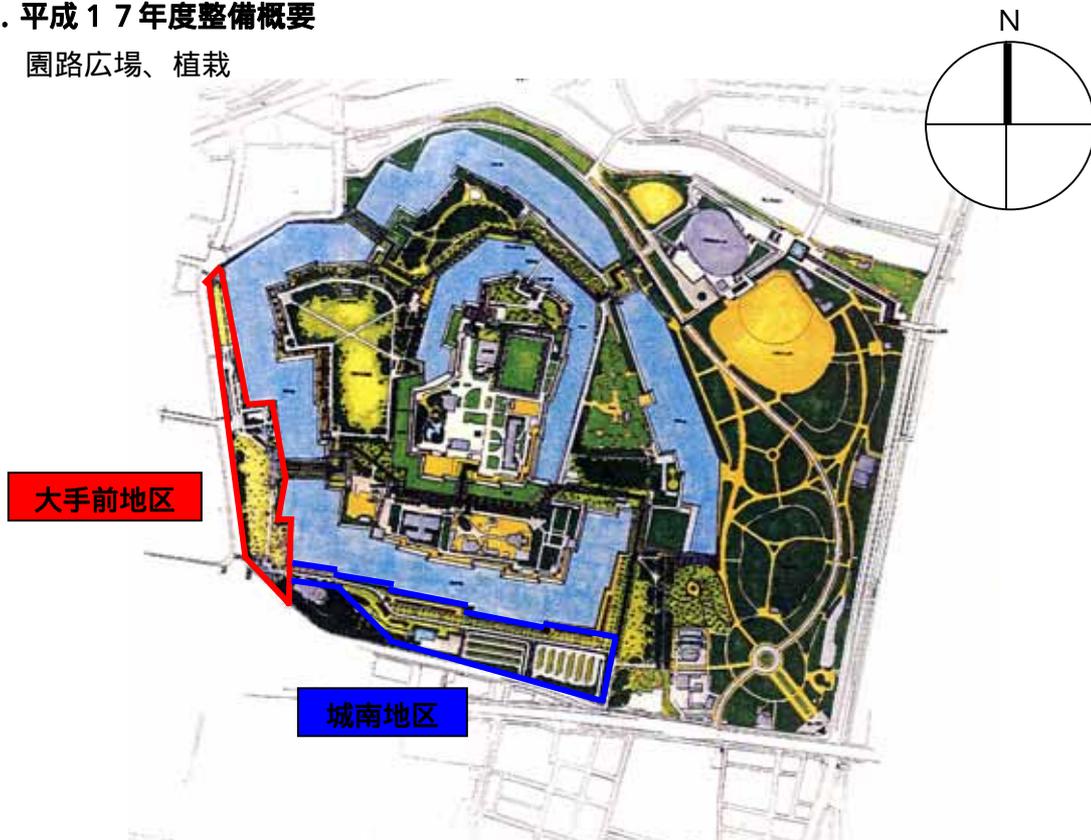
事業主体：大阪市

事業期間：平成16年度～

事業区域：城南地区・大手前地区

3. 平成17年度整備概要

園路広場、植栽



2) 治水関係の概要

1. 近畿の治水関係事業の基本方針

近畿地方は、南部の太平洋側には日本の最多雨地帯である大台ヶ原、北部の日本海側には積雪寒冷地、中央部には低平地の大阪平野が広がるなど、地域特性が多岐にわたっています。古くから都が置かれるなど政治、経済、文化の中心としても栄え、歴史ある大都市、中小都市が発展してきました。このため、多種多様な形態の災害が起こり得る可能性があります。

特に京阪神地域は、人口、資産等が高密度に集積し、我が国の経済・文化を支える重要な地域となっていますが、淀川・大和川流域の氾濫区域であり、六甲山等の急傾斜地もあることから、水害等の被災ポテンシャルは極めて高く、ひとたび洪水等の災害が起これば日本経済に与える影響は計り知れないものとなります。また、近畿地方に住む2,140万人のうち1,600万人の飲み水は、琵琶湖をはじめとする淀川水系に集中して依存していることから、渇水による影響も極めて大きなものとなります。

このような近畿の抱える現状に対し、重点的に河川関係施設等の整備を行い、災害の発生防止、被害の低減を図り、安全で安心できる暮らしの実現をはかることが、最も重要であり、近畿の再生支援にも繋がります。環境負荷の低減、都市問題の克服、少子高齢化対応等といった新たな課題にも適切に対応することも必要となってきています。人工改変によって川を形造るという発想ではなく、『川が川をつくる』のを手伝うという考え方を念頭に実施することも大切です。

また、これからの河川整備は、河川行政に携わる者のみで行うのではなく、地域の住民をはじめとした、様々な声、ニーズを聴き進める必要があります。近畿地方整備局では、全ての直轄河川で学識経験者で構成される流域委員会等を設置（予定を含む）して、今後の河川整備のあり方について議論を展開しているところです。また、説明会や住民対話集会等を開催し住民や関係自治体の幅広い意見を反映させるための取り組みも行っています。

これからの治水関係事業は、地域の方々との意見交換や議論を広範囲に行い、川の特性を生かし、また川に生かされる社会の形成を目指した施策による展開が必要となっています。

平成17年度は、新しい河川行政の方向を意識した、次のテーマを柱とした必要性の高い治水関係事業を展開します。

重 点 テ ー マ

■川を生かし、川に生かされる社会に向けて

(多文化共生近畿の実現のために)

■安全で安心できる近畿を目指し

(セーフティー近畿の実現のために)

■『水』を通じた再生と連携（ネットワーク）による京阪神の活性化支援

(にぎわい近畿の実現のために)

■多様な自然と共生する川づくりに向けて

(エコ近畿の実現のために)

■ハード・ソフト面からの防災対策の充実

(産業いきいき近畿の実現のために)

■少子高齢化への対応

(セーフティー近畿の実現のために)

2. 平成17年度 治水関係事業 事例一覧

テ - マ	施 策	事業別	事 業 名 (代表事例)	実施箇所 (府県名)	頁
川を生き、川に 生かされる社会に向け て	河川の特性と地域の声 を活かした河川整備計 画の策定	直轄	流域委員会の設置と住民意見の 反映	近畿各河川	河川 - 3
安全で安心できる 近畿を目指し	人口・資産の集中して いる「都市域」を守る	直轄	堤防補強・質的整備対策	大阪・京都・ 兵庫・滋賀	河川 - 4
		補助	寝屋川総合治水対策 北部・南部地下河川	大阪	河川 - 5
		補助	高潮・耐震対策事業	大阪	整備局版参照
	緊急的に浸水被害解消 を目指す集中的な事業 展開	直轄 補助	大和川・猪名川 総合治水対策特定河川改修	奈良・大阪・ 兵庫	-
		直轄	大和川下流改修	大阪	-
		直轄 補助	日野川引堤、 布留川南流改修	福井・奈良	河川 - 6
	災害頻発等地域の緊急 防災対策	直轄	由良川 戸田地区改修	京都	整備局版参照
		直轄	相野谷川、由良川 水防災対策	三重・京都	河川 - 7
直轄		六甲山系砂防一王谷堰堤、 木津川水系砂防谷出堰堤	兵庫・奈良	河川 - 8	
『水』を通じた再生と 連携による京阪神の活 性化支援	防災・環境ネットワー クによる都市の再生・ 連携	直轄	水と緑のネットワーク整備	兵庫	整備局版参照
	まちづくりとの連携に よる都市再生	補助	道頓堀川、七瀬川	大阪・京都	整備局版参照
多様な自然と共生する 川づくりに向けて	ビオトープ整備を中心 とした琵琶湖環境の総 合保全	直轄	琵琶湖ビオトープネットワー クの作成	滋賀	-
	自然と共生する川づく りの推進	直轄	地域と連携した取り組み 円山川の自然再生コウノトリの 郷	兵庫	整備局版参照
			淀川鷺殿ヨシ原の保全・再生、 淀川ワンドの保全・再生	大阪	整備局版参照
	生物の良好な生息・生 育環境を有する海岸の 保全・再生	補助	久美浜海岸エコ・コースト	京都	河川 - 9
	おいしい安全な水の確 保	直轄	大和川、林田川水環境整備	大阪・奈良・ 兵庫	
ハード・ソフト面から の防災対策の充実	東南海・南海地震対策 (IT防災)	直轄	津波被害軽減対策 (河川管理用光ファイバー網の 高度利用)	-	整備局版参照
少子高齢化への対応	河川空間へのバリアフ リー化、災害時要援護 者保全対策の推進	補助	鴨川、都賀川	京都・兵庫	河川 - 10

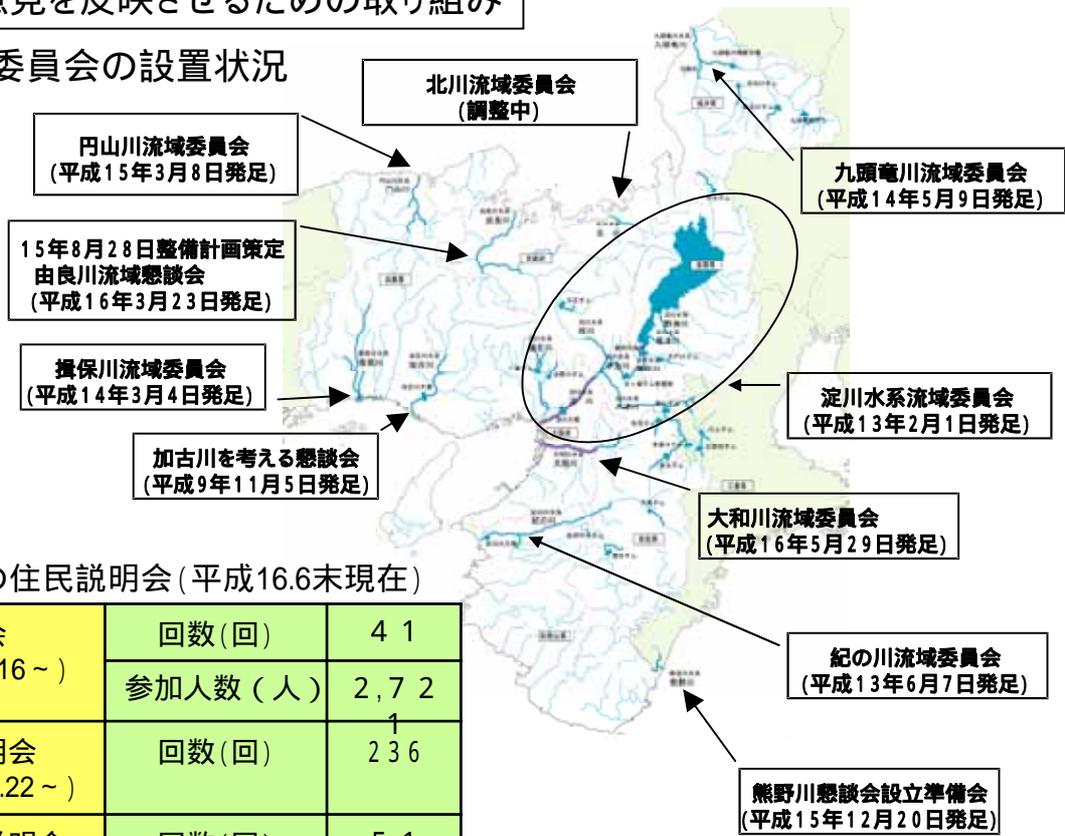
河川の特性と地域の声を活かした 河川整備計画の策定

～ 流域委員会の設置と住民意見の反映 ～

近畿地方整備局では、河川空間の整備と保全を求める地域の声に、よりの確に応え、流域の特性や地域の風土・文化等の実情に応じた河川整備を推進していきます。また、川との共存共栄を図るためには、流域との連携が不可欠であると考え、河川整備計画の策定にあたっては、全ての直轄河川で学識経験者で構成される流域委員会等を設置（予定含む）し、審議の内容や審議に至る一連の経過を広く地域に提供して、住民や関係自治体の幅広い意見を反映させるための新しい取り組みを積極的に導入しています。

地域の意見を反映させるための取り組み

流域委員会の設置状況



淀川水系の住民説明会 (平成16.6末現在)

住民説明会 (平成14.2.16～)	回数(回)	4 1
	参加人数(人)	2, 7 2
自治体説明会 (平成14.12.22～)	回数(回)	1
		2 3 6
関係団体説明会 (平成14.12.22～)	回数(回)	5 1

住民対話討論会

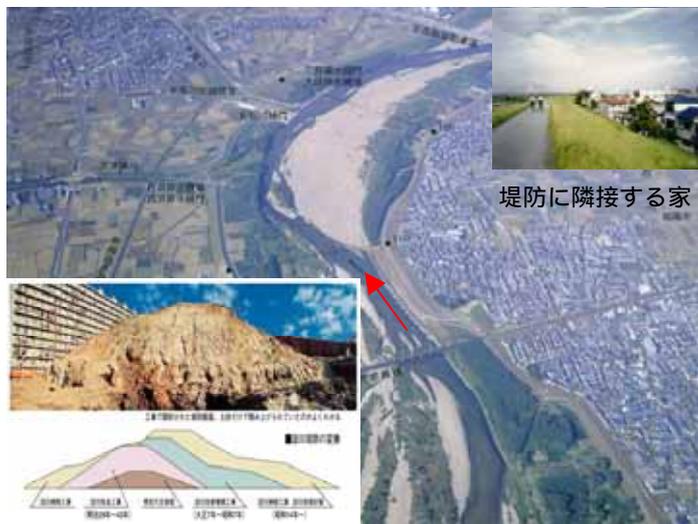


人口・資産の集中している「都市域」を守る

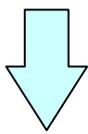
～ 堤防補強・質的整備対策～

1. 概要

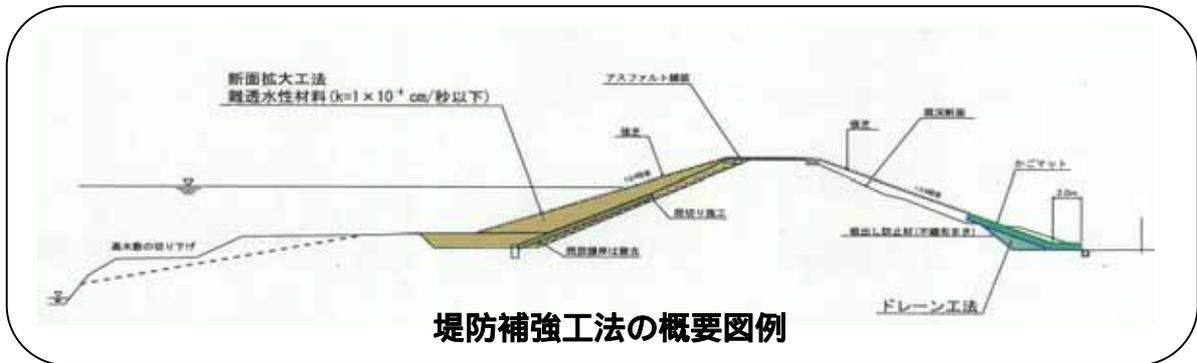
人口・資産が集積した地域において、一部の区域の堤防沿いには人家が隣接し、背後地には市街地が控え、洪水時に破堤した場合の被害が大きいことから堤防の安全性を確保することが重要です。また、堤防は材料として吟味されているとは限らない土砂を用いて逐次強化を重ねてきたものです。そのため既存の堤防の調査を行い緊急的な対策が必要な区間については、堤防補強を実施します。



淀川堤防の変遷
背後地に民家が集中している区域(木津川下流部)



代表的な対策工法
 堤体に極力河川水を浸透させない 断面拡大工法
 堤体に浸透した水を速やかに排水 ドレイン工法



2. 平成17年度の整備内容

人家が隣接している堤防で重点的に詳細点検を行い、浸透対策等が必要となる木津川下流及び猪名川等において、堤防補強対策を実施していきます。

安全で安心できる近畿を目指し

人口・資産の集中している「都市域」を守る

1. 概要

～寝屋川総合治水対策北部・南部地下河川(大阪府)～

大阪府東部の寝屋川流域は、その約8割が低地である上に、流域全体に都市化が進み、大雨が降ると急激かつ大量に雨水が流れ出て、河川が溢れたり、河川への排水ができないことにより、市街地が浸水する都市型水害が発生しやすくなっています。そこで、このような浸水を軽減するため、新たな放流施設として地下河川を建設し、安全で安心できる地域づくりを促進します。地下河川完成時は北部地下河川191m³/s、南部地下河川180m³/sの放流可能な施設となります。

2. 平成17年度の整備内容

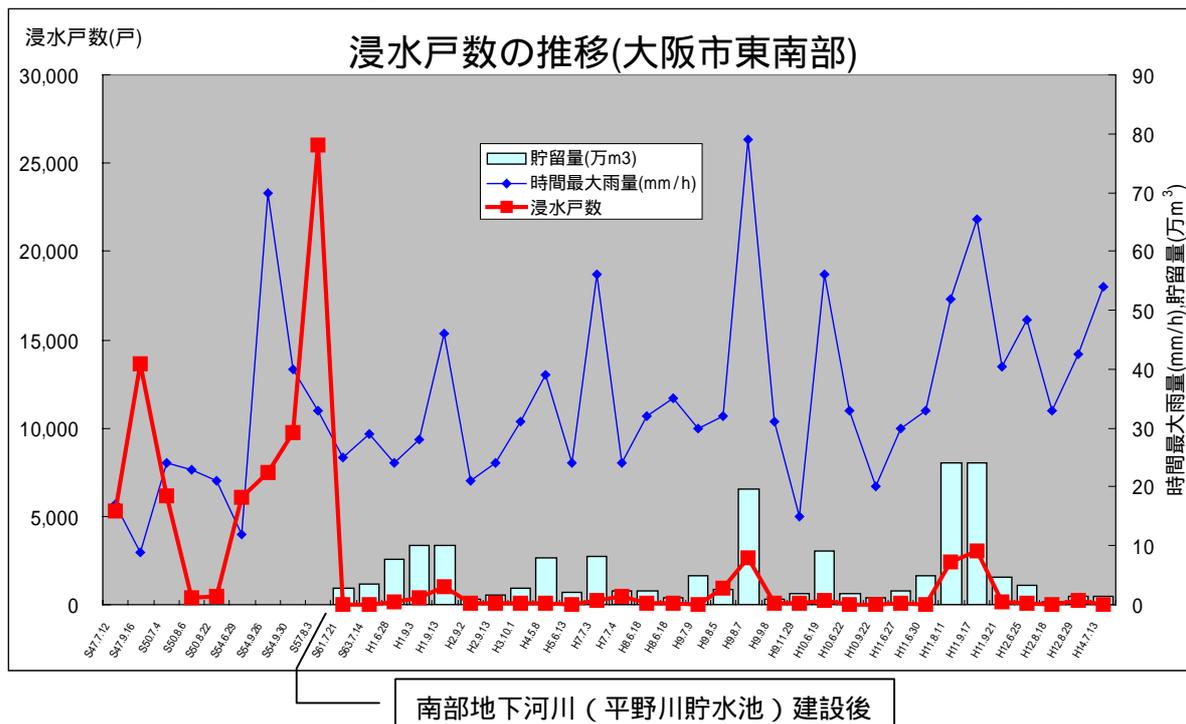
現在、北部・南部地下河川合わせて約64万m³の貯留を暫定供用しており、北部・南部地下河川合わせて約76万m³の貯留を可能とする調節池の完成を目指して、引き続き事業を促進します。 事業着手 平成元年度 完成予定 平成28年度(南部)



地下河川内部



内部湛水状況



安全で安心できる近畿を目指し

緊急的に浸水被害解消を目指す集中的な事業展開

集中的な事業展開によって早期効果発現を図る
(緊急対策特定区間の事業の実施)

九頭竜川水系日野川引堤

1. 概要

福井市内を貫流する日野川下流部においては、流下能力が不足しており、これまで破堤などによる大きな浸水被害をもたらしているため、今後10ヶ年で重点的に日野川引堤を実施し、被害軽減を図ります。

2. 平成17年度の整備内容

深谷地区において引続き引堤を推進し、下市地区では築堤、護岸整備を推進します。



～日野川引堤、布留川南流改修～



[H16. 7月福井豪雨 (福井市内)]



[日野川引堤 (深谷、下市地区)]

大和川水系布留川南流

1. 概要

天理市内を流れる当河川は流下能力が低く、度々市街地において浸水被害が発生していることから、早期完成に向けて河川改修を実施します。

2. 平成17年度の整備内容

吉田地区及び筑紫地区において護岸工の改修を推進します。



[天理市西長柄町] H10.8 床下浸水戸数:52戸

安全で安心できる近畿を目指し

災害頻発等地域の緊急防災対策

水防災対策特定河川事業

おのだにがわ
～相野谷川、由良川水防災対策～

1. 概要

近年、浸水被害が頻発している地域を対象に、緊急かつ効率的に治水効果をあげるため、従来の連続堤防による河川整備にとられない、輪中堤・宅地嵩上げ等による治水対策を、地域の意見を取り入れて実施します。

おのだにがわ

相野谷川

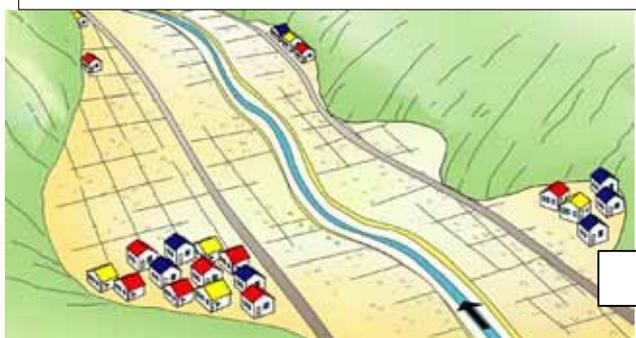
新宮川水系相野谷川（三重県紀宝町）沿川では、今年の出水を含め過去10年で7回の浸水被害が発生しています。平成16年8月の台風11号では約40戸の浸水被害が発生しました。このような現状を踏まえ、既に事業化を図っている水防災対策事業による輪中堤整備や宅地嵩上げをより一層推進し、早期に被害の防止を目指します。



由良川

由良川の下流部(京都府福知山市、大江町他)には堤防が無く、山地が両岸に迫り平地の少ない地形となっています。地域の意見を踏まえ輪中堤、宅地嵩上げを取り入れた河川改修を行い、早期に安全度の向上を図ります。

狭隘な平地部の住家を洪水から保全



2. 平成17年度の整備内容

相野谷川においては、大里地区にて輪中堤、宅地嵩上げを実施します。

由良川においては、大江町の千原・尾藤地区、舞鶴市域にて輪中堤を実施します。

安全で安心できる近畿を目指し

災害頻発等地域の緊急防災対策

いちおうだにえんてい たにでえんていくん
～ 六甲山系砂防一王谷堰堤、木津川水系砂防谷出堰堤群～

梅雨や台風のみならず近年の異常気象に伴う局所的集中豪雨により、土砂災害の危険性がさらに高まっています。災害発生時に重大な影響を及ぼす箇所を重点的に砂防施設の整備を行い、治水安全度の向上を図ります。

いちおうだにえんてい

六甲山系砂防一王谷堰堤

1. 概要

市街地の拡大に伴い、山間地域に至るまで土砂災害の危険性が高まっています。砂防施設の整備によって治水安全度の向上を図るとともに、災害などが発生したときに緊急的な対策を実施し、生活の安定を図ります。



【一王谷堰堤の周辺状況】

2. 平成17年度の整備内容

六甲山系一王谷堰堤においては、堰堤本体工事を継続します。

たにでえんていくん

木津川水系砂防谷出堰堤群

1. 概要

三重県名張市西部の谷出地区に位置する土石流危険渓流は、人家24戸、保育所、避難場所に指定されている小学校及び第1次緊急輸送路の国道165号を保全対象としています。渓流の上流部は溪岸崩壊や山腹崩壊が発生しており早急な対策が必要です。



【谷出地区の土石流危険渓流と想定氾濫区域】



【氾濫開始点付近からの保全対象】

2. 平成17年度の整備内容

木津川水系砂防谷出堰堤において、用地買収に着手します。

多様な自然と共生する川づくりに向けて

生物の良好な生息・生育環境を有する 海岸の保全・再生

1. 概要

～久美浜海岸(京都府) エコ・コースト～

補助事業として、久美浜海岸(京都府久美浜町)において、侵食等の自然災害から海岸を防護するとともに、海岸線沿いに自生するトウテイラン(レッドデータブック絶滅危惧種に指定)を保全するためエコ・コースト事業を推進します。



[久美浜海岸に自生するトウテイラン]



[トウテイランの拡大写真]

2. 平成17年度の整備内容

平成17年度については、人工リーフの整備を継続して行います。

多様な自然と共生する川づくりに向けて

おいしい安全な水の確保

～大和川、林田川水環境整備(清流ルネッサンス)の実施～

依然として環境基準を達成していない河川、水量の減少により水環境の悪化が著しい箇所を、関係機関と連携し緊急的に浄化対策を実施します。

清流ルネッサンスの実施

水質の改善が望まれる大和川において、「清流ルネッサンス21」を実施した結果、大和川の水質は徐々に改善しているものの、依然として環境基準を達成するに至っていない状況にあります。このため、「清流ルネッサンス」で引き続き、大阪府、奈良県及び近畿地方整備局等の連携により大和川の水環境改善を目指します。

一方、林田川は「清流ルネッサンス21」を実施することで水質は大幅に改善されましたが、流域の都市化等の原因から冬期に水枯れを起こすようになり、水量の減少による水環境の悪化が著しい状況にあります。このため、「清流ルネッサンス」では、揖保川からの導水、多自然型浄化施設等を実施し、林田川の水環境の改善を目指します。



[冬期の水枯れ(林田川)]



[多自然型浄化施設(林田川)]



[河川愛護精神の普及・啓発(大和川)]

河川空間へのバリアフリー化、 災害時要援護者保全対策の推進

～ 鴨川(京都府)、都賀川(兵庫県)～

鴨川(京都府) (広域基幹河川改修)

1. 概要

京都府が進める「京の川づくり」構想の中で、水辺の修景、歴史、文化を生かした整備ゾーンに鴨川が位置づけられています。河川改修と併せ、歩道と河川管理用道路の機能を併せ持つ潤いと安らぎに満ちた緑豊かな散策路整備を実施し、高齢者や障害者、子どもなど全ての人々が憩い親しめる河川空間を創出します。

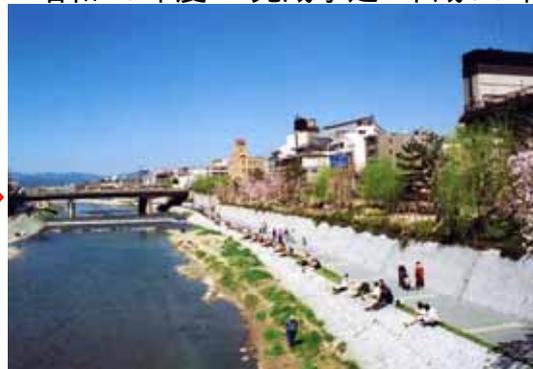
2. 平成17年度の整備内容

陶化橋上流右岸の護岸整備を継続促進します。

事業着手 昭和49年度 完成予定 平成30年度



整備前



整備後イメージ

都賀川(兵庫県) (広域基幹河川改修事業)

1. 概要

阪神・淡路大震災の被災地を流れる都賀川は、兵庫県が策定した「防災ふれあい河川整備計画」に基づき整備されています。防災機能を確保した河川改修とあわせ、水辺にアプローチしやすい坂路の整備や河道内通路の整備を実施し、地域の人々が水に親しみ交流できる河川空間を創出します。

2. 平成17年度の整備内容

都賀川において護岸整備を継続推進します。

事業着手 平成8年度 完成予定 平成17年度



整備前



整備後イメージ

3)平成17年度 道路関係予算概算要求(直轄・補助)の概要

平成17年度 開通予定箇所

直轄事業

(1)高規格幹線道路

	府県名	路線名	箇所名	計画延長	供用予定		備考
					区間	延長	
	奈良県	一般国道24号	京奈和自動車道 大和御所道路	27.2	天理市二階堂北菅田町 ～ 橿原市小槻町	7.8	部分供用 (4/4)
	奈良県	一般国道24号	京奈和自動車道 五條道路	7.9	五條市居傳町 ～ 五條市畑田町	7.9	暫定供用 (2/4)
	和歌山県	一般国道24号	京奈和自動車道 橋本道路	11.3	橋本市隅田町真土 ～ 伊都郡高野口町大野	11.3	暫定供用 (2/4)

(2)地域高規格道路

	府県名	路線名	箇所名	計画延長	供用予定		備考
					区間	延長	
	大阪府	一般国道163号	学研都市連絡道路 清滝生駒道路	5.3	四條畷市大字中野 ～ 四條畷市大字清滝	1.9	部分供用 (4/4)

(3)一般国道

	府県名	路線名	箇所名	計画延長	供用予定		備考
					区間	延長	
	奈良県	一般国道24号	京奈和自動車道 大和御所道路 (一般部)	13.8	大和郡山市伊豆七条町 ～ 天理市二階堂北菅田町	2.2	部分供用 (4/4)
					橿原市小槻町 ～ 橿原市土橋町	0.7	現道拡幅 (4/4)
	兵庫県	一般国道175号	平野拡幅	3.3	神戸市西区平野町宮前 ～ 同町西戸田	0.7	現道拡幅 (4/4)

補助事業

(1)地域高規格道路

	府県名	路線名	箇所名	計画延長	供用予定		備考
					区間	延長	
	奈良県	一般国道168号	五條新宮道路 宇宮原バイパス	1.8	吉野郡十津川村宇宮原 ～ 同村長殿	1.6	
	和歌山県	一般国道168号	五條新宮道路 熊野川・本宮道路	2.6	東牟婁郡熊野川町東敷屋 ～ 同郡本宮町大津荷	2.6	

(2)一般国道

	府県名	路線名	箇所名	計画延長	供用予定		備考
					区間	延長	
	京都府	一般国道477号	殿谷道路	3.4	船井郡園部町口人 ～ 同町殿谷	3.4	
	兵庫県	一般国道176号	鐘ヶ坂バイパス	2.7	水上市柏原町上小倉 ～ 篠山市追入	2.7	

(3)地方道

	府県名	路線名	計画延長	供用予定		備考
				区間	延長	
	滋賀県	一般県道 北舟木勝野線	1.3	高島郡高島町永田 ～ 同町勝野	1.3	
	京都府	主要地方道 綾部大江宮津線	1.5	宮津市喜多	1.5	
	奈良県	市道 奈良阪南田原線 (北大和駅前広場)	3,420m ²	生駒市上町 (京阪奈新線「北大和駅」)	3,420m ²	
	大阪府	市道 春日出線(春日出橋)	0.1	大阪市此花区西九条7丁目 ～ 同区春日出南1丁目	0.1	

新規開通予定箇所図



京奈和自動車道 五條道路
奈良県五條市居傳町(いでちよう)付近
(H16.6撮影)



新規開通予定 (直轄)

新規開通予定 (補助)

凡 例		
幹線道路等	供 用 中	
	事 業 中 (着工準備)	
一般国道 (直轄・補助)		



京奈和自動車道 橋本道路
和歌山県橋本市隅田町(すだちよう)付近
(H16.3撮影)

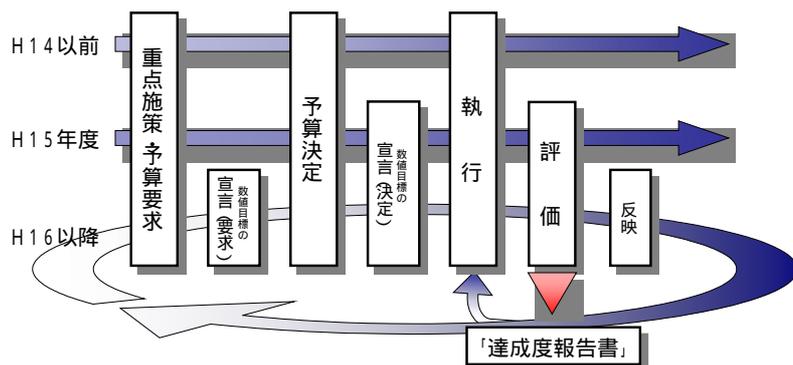
1 道路行政の改革

1. 成果志向の道路行政マネジメントの実践

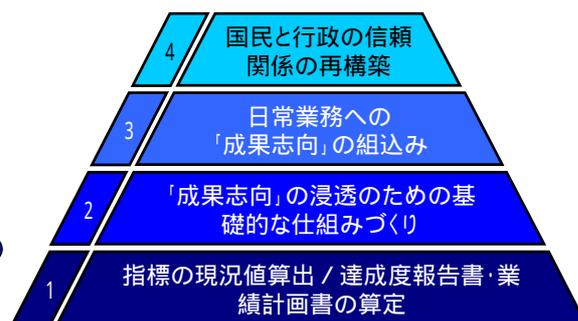
成果志向の道路行政マネジメントの実践

より効果的、効率的かつ、透明性の高い道路行政へと転換を図るため、他の公共事業分野に先駆けて成果志向の道路行政マネジメントを実施しています。行政の運営理念としてマネジメントを据え、全国においては、平成16年6月に、初の達成度報告書を公表し、1年前に宣言した目標の「達成度」を確認しました。

達成度を評価し次に活かす道路行政マネジメントを実践



【「達成度」を重点施策や予算要求に反映】



【道路行政マネジメントの実践】

近畿の各府県においては、府県版「H16業績計画書 / H15達成度報告書」を策定中であり、今後、順次公表していく予定です。

2. ユーザーとの接点強化

幅広い住民の意見を聞くコミュニケーション活動の展開

よりよい道路サービスを提供するため、道の相談室をはじめ、幅広く国民の意見を聞くコミュニケーション活動を展開します。

【「女性によるみちづくり」ワークショップの取り組み事例(大阪国道事務所)】

よりよい道づくりのために、女性の意見を積極的に取り入れることを目的とした「女性によるみちづくり」ワークショップ(参加者が自主的に考え、意見を交換する勉強会)を開催しており、平成16年度も引き続き開催していきます。

平成15年度は、大阪国道事務所の若手女性職員と一般公募による女性の方々により運営され、ワークショップや、現場見学などを行う中で、女性の視点にたった道路事業パンフレットが作成されました。



【ワークショップの様子】



【現場見学(共同溝工事)の様子】



【作成されたパンフレット】

NPO・地域住民等との協働による地域活動の支援

地域のニーズにきめ細かく対応し、豊かさや賑わいが感じられる道づくりを実現するため、NPO・地域住民等による道を活用した地域活動(オープンカフェ、美化活動等)や地域との共同イベント(打ち水大作戦等)の機会を拡大します。

平成16年度 オープンカフェ等実施箇所(社会実験)

:大阪市、茨木市、寝屋川市、神戸市

御堂筋での取り組み ~ にぎわいのある都市空間への再生 ~

御堂筋周辺地域は、平成14年7月に都市再生緊急整備地域に指定され、現在、御堂筋のにぎわい再生に向けたNPO等の活動が積極的になされるなど、地元意識の高まりが感じられます。

平成14年度に設置した「明日の御堂筋」委員会では、広く市民のみなさんの意見を聞きながら今後の御堂筋のあり方について議論し、今年3月に「御堂筋再生プラン」を提言として取りまとめました。

今年度は、この提言を具体化していくための「(仮称)御堂筋実行委員会」を設立し、地域の方々や関係機関との調整を行い、可能なものは逐次実施していく予定です。

御堂筋の清掃、迷惑駐輪防止の啓発活動の実施

社会実験「御堂筋オープンフェスタ」の実施

御堂筋の情報を掲載したホームページ(<http://www.midosuji.info/>)の開設

平成17年度は、御堂筋周辺地域の活性化を一層進めていくため、御堂筋実行委員会を中心とした取り組みを進めていく予定です。また、御堂筋活性化のための市民活動の拠点となる「(仮称)御堂筋マネジメントセンター」の設立に向けて検討を進めます。



【現在の御堂筋】



【御堂筋再生プラン(イメージ図)】



【社会実験「御堂筋オープンフェスタ」:H15.11.23】



【打ち水大作戦2004:H16.8.18】

2 円滑な移動の支援

1. モビリティの向上

渋滞対策の推進

円滑な移動を実現するため、道路ネットワークの構築に加えて、弾力的な料金施策や情報化の推進など、ハードとソフトを組み合わせた対策を総合的に進めます。

ハード施策：第二京阪道路の整備、大阪湾岸道路(西伸部)の計画の具体化 など

ソフト施策：路上工事の縮減、路上駐車対策、交通需要マネジメント(TDM) など

地域の活力と快適な生活環境を生み出すために ～大阪湾岸道路(西伸部)の計画の具体化～

大阪湾岸道路は、大阪湾ベイエリアにおける広域交通ネットワークを形成するとともに、都市と物流拠点とを有機的に連絡する総延長約80kmの自動車専用道路です。

大阪湾岸道路(西伸部)(以下「西伸部」という。)とは、現在未整備である神戸市東灘区(六甲アイランド北出入口)から同市垂水区(名谷ジャンクション)間のことであり、このうち神戸市東灘区(六甲アイランド北出入口)から同市長田区(駒ヶ林南)間については、都市計画決定されていません。

現在の神戸・阪神地域においては、道路ネットワークが不完全であるため、渋滞、交通事故、沿道環境問題などの道路交通問題が生じていますが、西伸部が整備されることで、供用中の区間のポテンシャルも最大限に発揮され、道路交通問題の改善が図られるとともに、地域や経済の活性化が期待されます。

西伸部のうち、神戸市東灘区～長田区間(約15km)については、計画決定手続きの透明性、客観性、公正さを確保するために、「大阪湾岸道路有識者委員会」を設置し、PIプロセスを進めています。

現在、「必要性」や「計画案について配慮すべき事項」等についての提言を行うために市民等の意見の把握や審議が進められています。

平成17年度は、「大阪湾岸道路有識者委員会」の提言を踏まえ、都市計画の手続きを進めます。



近畿地方整備局における路上工事の縮減に向けた取組

近畿地方整備局では、路上工事の縮減を目指し、リアルタイム路上工事情報提供システムの確立、共同施工、集中工事への取り組み、年末、年度末工事の抑制(工事の平準化)情報提供、PRの充実、掘り返し対策重点エリアの設定などの取り組みを行っています。

また、平成10年度より大阪市域において、行政機関、占有企業者から構成される路上工事縮減対策協議会を立ち上げ、大阪市内では、平成4年度に比べ、平成14年度では、約半分に減少しています。

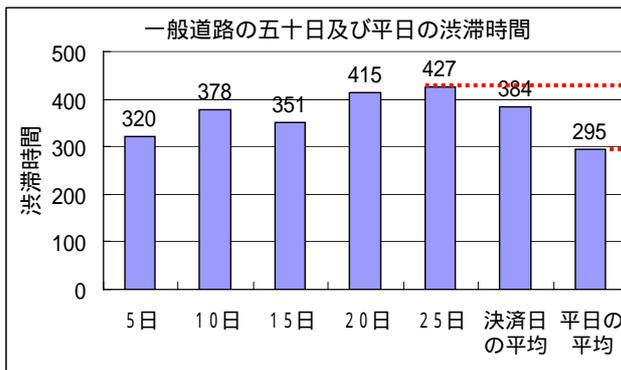
平成16年度は、各府県(福井県、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、神戸市)において、協議会を立ち上げ、既に設立済みの大阪市は大阪府域に拡大します。(京都府は既に設立済み)

平成17年度は、本格的に協議会を運営し、路上工事の縮減に向けた取り組みを進めます。



~ 五十日における車線規制を伴う工事規制(中止)の取り組み ~ (大阪市、平成16年度実施予定)

関西には、「五十払い」という商い上の特有の習慣があり、5・10の付く日は、渋滞も多く、路上工事の与える影響も大きいと考えられるため、大阪市内の昼間に行われる路上工事を原則中止することにより、渋滞緩和の効果や有効性、課題等について検証します。



- ・五十日の交通渋滞は平日平均より多い
- ・25日相当日が最も多く、平日平均に比べ、交通渋滞時間は約4割多い

出典:平成15年度 大阪の交通白書

ことび
五十日:取引先間の支払い日である、月のうち『五』、『十』がつく日

3 安全で安心できる暮らしの確保

1. 安全な生活環境の確保

事故危険箇所対策の推進

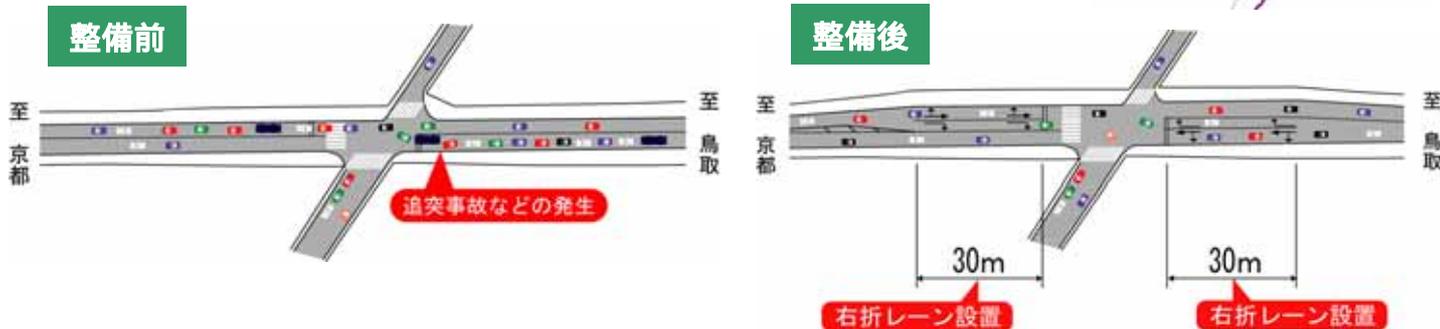
幹線道路での事故は、ある特定箇所に集中している傾向にあることから、死傷事故率の高い「事故危険箇所」において、平成15年度より交差点改良等の事故削減対策を重点的に進めています。

近畿地方整備局管内においては、事故危険箇所は966箇所あり、うち直轄国道には246箇所あります。平成17年度は、このうち71箇所に対策を実施します。

(新規:53箇所、継続:18箇所)

さらに、近畿地方整備局では、各府県毎において実施した「ヒヤリ箇所アンケート」も反映させ、ドライバーの実感に即した交通安全対策も実施していきます。

平成17年度新規実施予定箇所：一般国道9号土田地区交差点
(兵庫県和田山町)



2. 安全で快適な人優先のみちへの再生

くらしのみちゾーン

道路は交通のインフラであると同時に、かつては生活の賑わいをもった空間で、子供の遊び場でもありました。しかし、道路が徒歩中心の賑わい空間から自動車交通中心の移動、配送空間へと移り変わってしまった今、身近な道路にかつてのような道路空間を取り戻すためには、地域住民が計画に参画する住民主体のまちづくりの取り組みが必要です。

近畿地方整備局管内では、右記の11地区のまちづくり協議会、商店街、市町村等の方々と協働して、身近な道路を質の高い生活空間にする「くらしのみちゾーン」の形成を目指します。

【近畿地方のくらしのみちゾーン】

所在地	地区名	応募者 (代表組織)
滋賀県草津市	みなみくまつ 南草津地区	玉川地区交通・安全対策協議会
滋賀県大津市	おおつ 都心地区	大津市
滋賀県栗東市	りゅうとう 下鉤甲地区	栗東市
京都府宮津市	みやづ 島崎地区	宮津市
大阪府茨木市	いばらき JR茨木駅周辺地区	茨木市
大阪府豊中市	とよなか 菅根地区	まちづくり研究会そね21の会
大阪府枚方市	ひらかた 枚方宿地区	枚方市
大阪府堺市	さかい 都心地区	堺市
大阪府岸和田市	きしわだ 岸和田駅周辺地区	岸和田エコロジーサイクルシステム 導入実験実行委員会
大阪府泉大津市	いづみおおつ たなかちようほか 田中町外 (泉大津駅西側中心市 街地)地区	泉大津未来ビジョン協議会
大阪府河内長野市	かわちながの きぼうがおか 貴望ヶ丘地区	貴望ヶ丘くらしのみちづくり委員会

黄色着色は、平成16年度より新規登録箇所

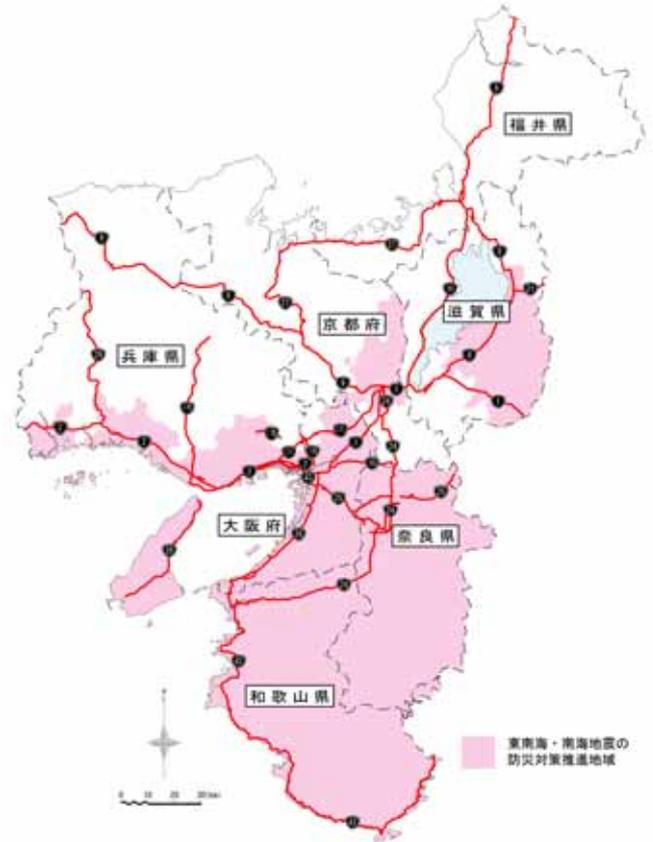
3. 地震、津波、豪雨、豪雪等に対する防災対策

安全で信頼性の高い道路網の確保

東南海・南海地震は、紀伊半島沖から四国沖を震源として、100～150年の周期で発生しており、2030年までに発生する確率が40%以上、2050年までに発生する確率は80%以上とされています。

このため、東南海・南海地震が発生した場合に著しい被害が生じる恐れのある地域を東南海・南海地震防災対策推進地域として、近畿では2府4県184市町村が指定されています。

また、災害に対して安全で信頼性の高い道路網を確保するため、緊急輸送道路の橋梁耐震補強や事前通行規制区間の解消に向けた法面对策を実施し、日常活動や災害時の緊急活動を支える道路とするための対策を推進します。



平成17年度実施箇所

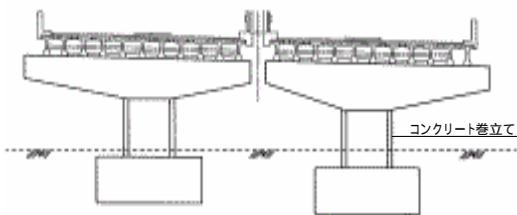
震災対策：一般国道2号 魚橋第3高架橋(兵庫県高砂市阿弥陀町魚橋) 他
 防災対策：一般国道9号 京都府天田郡夜久野町 他



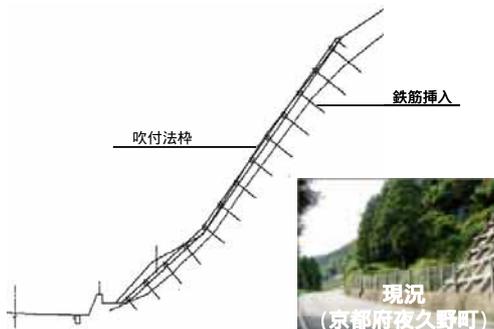
【位置図】



【位置図】



【震災対策(橋脚補強)】



【防災対策(法面对策)】

防災対策実施事例 (国道9号京都府瑞穂町)

対策前

↓

対策後

↓

現況

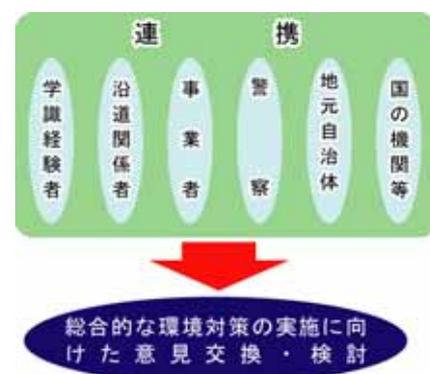
4 地域環境と美しい景観の保全と創造

1. 環境の保全・創造

1) 阪神地域における環境対策の取り組み

国道43号の沿道環境改善のための様々な対策

一般国道43号沿道の環境対策として、道路構造対策を中心に進めてまいりましたが、依然として厳しい状況を踏まえ、兵庫県内の国道43号及びその周辺地域を対象に、更なる総合的な環境対策を推進するため、去る7月28日に発足した、学識経験者、国の機関等、警察、地元自治体、事業者、沿道関係者が一堂に会する『国道43号周辺地域環境会議』により、総合的な環境対策の実施に向けた様々な意見交換・検討を行い、国道43号沿線のより良い環境の実現を目指します。



大気測定の実践

一般国道43号沿道における大気環境の情報提供の拡充を図るため、引き続き、当該大気常時観測局の近傍に電光掲示板を設置し、リアルタイムにNO₂、SPMの測定値の表示を行っていきます。

大型車の検査・取締りの強化

- 一般国道43号の特殊車両取締り基地(尼崎市・西宮市)を利用した過積載及び特殊車両通行許可違反等の取締りを関係機関と連携して引き続き実施します。特に尼崎市の特殊車両取締り基地においては、排気黒煙検査による取締りも加えた「尼崎地区ディーゼル車排ガスクリーンキャンペーン」を毎月実施します。
- 一般国道43号に5箇所ある特殊車両自動取締り装置を利用した指導警告等を引き続き実施します。



国道43号 大型車の検査・取締り実施状況(尼崎市)

新たな技術に関する取り組み

- NO_xやSPMを除去するための、土壌脱硝技術の実験を引き続き取り組み、学識経験者等による委員会により、技術的評価を行います。(継続:一般国道43号西宮市)
- NO_xを除去するための光触媒に関するフィールド実験を引き続き実施します。(継続:一般国道43号大阪市西淀川区)

これからも新技術を積極的に活用し、騒音の低減に取り組んでいきます。

その他

- 一般国道43号バリアフリー化(エレベーターの設置等)を引き続き検討します。



一般国道43号(西宮市) 土壌脱硝施設



一般国道43号(大阪市西淀川区) 遮音壁への光触媒塗布

2) 沿道環境の改善

道路構造対策の推進

環境基準を超過しているところについて、低騒音舗装の敷設や遮音壁の整備を実施し、騒音の低減に努めます。また、自動車排気ガスの低減に寄与する、平均走行速度の向上等を目的とした交差点立体化等の施策を推進します。

平成17年度実施予定箇所： 一般国道1号大阪府守口市大日地区[遮音壁の設置]

一般国道24号八条坊門^{はうもん}立体交差(京都市下京区) 他

2. 美しい景観の保全と創出

道路整備の各段階における景観配慮の徹底

道路整備にあたっては、配慮項目の一つとして景観を位置づけるほか、事業の各段階において住民等の意見を聴取し、景観についての評価を実施について検討します。

景観の評価については、景観アセスメント(景観評価)の本格的運用に向け取り組んでいるところであり、道路事業については、大阪湾岸道路(西伸部)六甲アイランド～駒ヶ林南間を対象として試行的に景観評価を実施します。

3. 道路から広がる緑の空間づくり

新しい道路緑化「グリーンマネージメント」

近畿地方整備局では、公共空間に対する国民ニーズの多様化・高度化や依然として厳しい沿道環境の改善・地球温暖化防止への取り組みといった観点から、従来の道路緑化を見直し、道路緑化の推進と植栽の適正な育成・維持を図るべく、新しい道路緑化の進め方「グリーンマネージメント」の検討を行ってきました。

この「グリーンマネージメント」では、「育てるみどり」、「地域性を重視したみどり」、「地域住民との協働」といった視点が盛り込まれています。平成17年度からは、「グリーンマネージメント」に基づいた道路緑化を試行的に実施します。



阪神地域における環境対策

近畿地方整備局では、阪神地域における環境対策として、国道43号等において植樹帯及び環境防災緑地の整備を進めています。整備にあたっては、地元と調整のうえ、大気浄化能力のある樹種を中心に花木も交えながら緑量の増加を引き続き行います。

環境防災緑地の整備
(基本型)



管理上の観点からフェンスを設置した基本型
(道路管理者が管理)

環境防災緑地の整備
(利用型)



地元自治体等の利用の意志がある場合に一部開放した利用型(沿道自治体が管理)

I. 基本方針

社会資本整備重点計画の達成に向け、『「早く」「安く」「安全で」力のみなぎるみなと』および『安全で、美しく、いきいきした海岸』を次世代に継承すべく、社会資本整備重点計画の4つの政策テーマに沿って重点的な投資を行い、国民のニーズに即した施策の展開を目指します。

○ 活力：国際競争力の強化・地域の魅力と活力にあふれる経済社会の形成

世界トップクラスのコスト・スピード・サービス水準を実現するためのスーパー中核港湾プロジェクトの推進、産業再生と民需・雇用の創出に資する地域の物流基盤整備など、活力ある近畿を目指します。また、海辺の史跡・景勝岩など地域の文化資源の防護や観光振興に資する自然豊かな海岸の維持・回復により地域の活性化を目指します。

○ 環境：循環型社会の形成、地球環境問題への対応

港湾を核とした廃棄物処理対策、自然再生の推進、良好な水環境への改善など、美しい近畿の環境創造に向けた事業を推進します。

○ 安全：安全で安心な地域づくり

東南海・南海地震等切迫した大規模地震発生への恐れや津波、高潮等の災害に対して地域の生命・財産を護るため、防災機能の強化や防災拠点機能の提供を図るとともに、被害をできるだけ少なくするためハード・ソフトが一体となった取組みを推進し、総合的な防災対策の確立を図ります。

○ 暮らし：みなとまちづくりの推進、豊かな生活の実現

地域の個性ある発展を着実に進めるため、地域社会と協働し、みなとを核とした「みなとまちづくり」を推進します。また、多様で豊かなかつての海辺と人々のつながりをめざした「里浜づくり」、バリアフリー化など、安全で安心できる豊かな暮らしの実現を目指した事業を推進します。

II. 重点事項と主要事業

活力：国際競争力の強化・地域の魅力と活力にあふれる経済社会の形成

国際競争力を備えた物流ネットワークの構築

「安く、速く、安全で信頼性の高い海上物流サービス」の提供を目指し、大阪湾においてソフト・ハード一体となった国際物流機能強化のための取組みを推進します。

- スーパー中核港湾プロジェクトの推進（神戸港・大阪港） …… 港空－3・4
- 臨海部アクセスを強化する幹線臨港道路等の整備（大阪港） …… 港空－5

産業再生と地域経済の活性化

地域における産業の競争力を確保するため、地域経済の活性化に資する港湾のターミナル機能を強化します。

海辺の美しい景観や文化資源の保全・創造

海辺の美しい景観や文化資源を活かし、自然豊かな海岸の維持回復により地域の活性化を図ります。

空港アクセス等航空サービスの高質化

国内基幹空港の機能分担に対応するため、基本施設の改良や利用者の利便性向上に向けた関連施設の整備を図ります。

- 空港基本施設等の整備（大阪国際空港）…………… 港空－6

環境：循環型社会の構築・地球環境問題への対応

循環型社会の構築

循環型社会の形成を促進するため、ひっ迫した廃棄物処理問題等に対応するため、廃棄物海面処分場の整備を推進します。

- フェニックス事業の推進（大阪湾）…………… 港空－7

自然再生の推進・良好な水環境の改善

地域と連携した自然再生事業を推進し、豊かな生態系を育む良好な港湾環境を形成します。また、良質な海洋環境を保全し、人々が海とふれあいやすい海岸づくりを進めます。

- 海洋環境整備事業の推進（瀬戸内海）…………… 港空－8

安全：安全で安心な地域づくり

災害に強い国土づくり

地震や津波、高潮等の災害から地域の生命・財産を防護する水準を向上するとともに、災害時における防災拠点としての機能を確保します。

- 東南海・南海地震への津波対策等の重点的・効率的な推進…………… 港空－9

暮らし：みなとまちづくりの推進、地域の豊かな生活の実現

地域の個性を活かした「みなとまちづくり」の推進

地域の個性ある発展を将来にわたり着実に推進するため、地域住民等と協働で港湾を核とした「みなとまちづくり」を推進します。

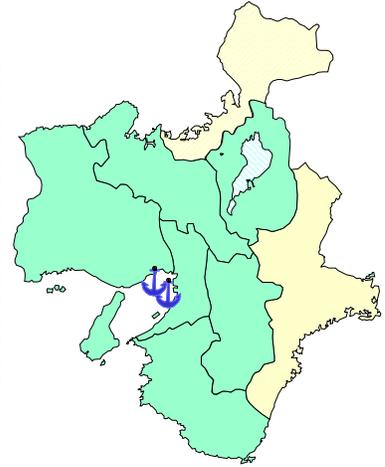
生活空間の充実等を通じた豊かな生活の実現

地域住民と一体となった安全で潤いのある海岸の創設により、海と人をつなぐ「里浜づくり」を推進します。

- 海辺に親しめる海岸づくりの推進
（和歌山下津港海岸・東播磨港海岸）…………… 港空－10

スーパー中枢港湾プロジェクトの推進（神戸港・大阪港）

平成16年7月23日にスーパー中枢港湾の指定を受けた神戸港・大阪港では、世界トップクラスのコスト・スピード・サービス水準の実現のため、両港の連携強化に向けたコンテナ物流の円滑化情報システム構築の支援や24時間フルオープン化に向けた支援、並びに、大水深岸壁(-16m)を備えたコンテナターミナルの整備に着手し、スーパー中枢港湾プロジェクトの推進に取り組みます。



ターミナル運営システムの統合、IT化やコンテナ船の大型化への対応(-16m)

ロジスティクス産業の集積促進



神戸港 ポートアイランド地区

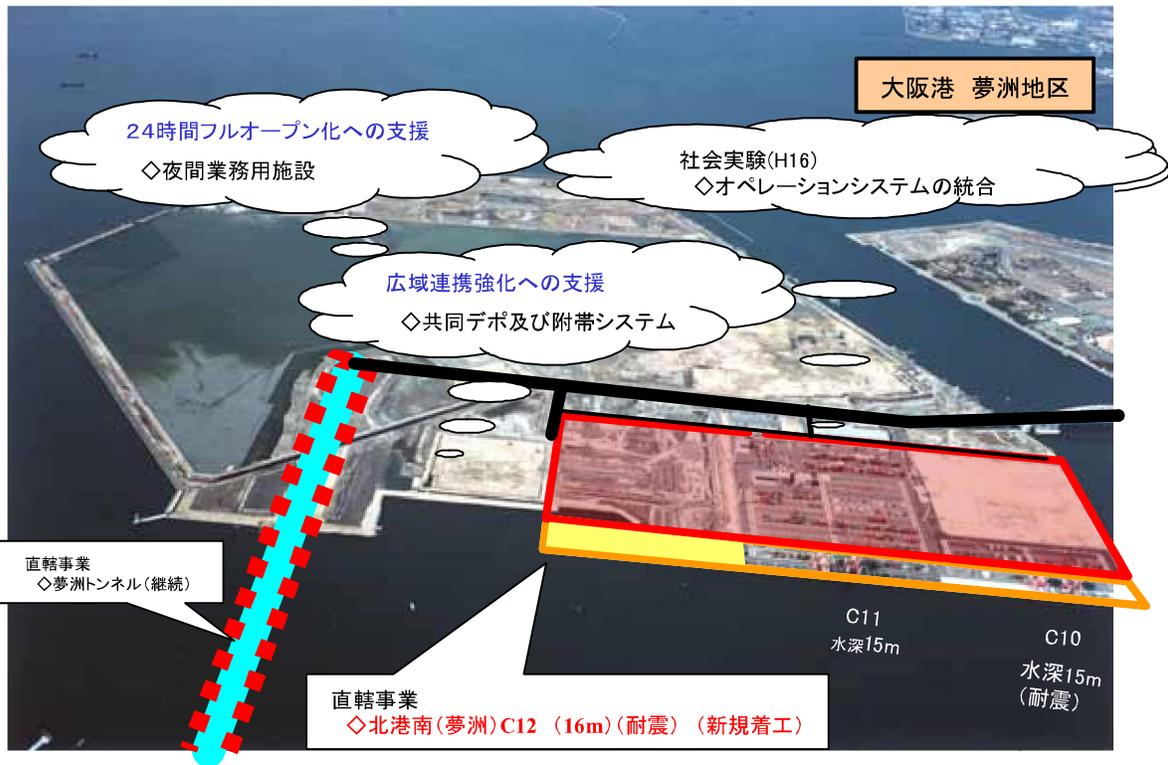
阪神港の
連携強化！



大阪港 夢洲地区

港湾の広域連携強化に向けたコンテナ物流の円滑化情報システム構築の支援(阪神港広域IT基盤)

24時間フルオープン化の支援

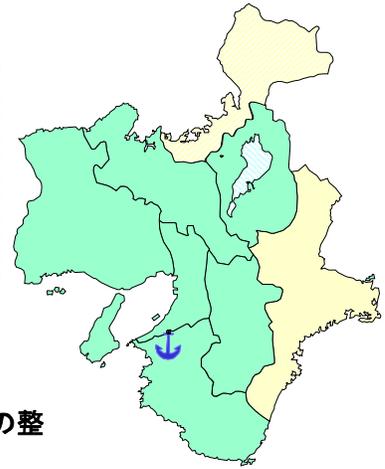


《事業の効果》

- 目 標 — 世界トップクラスのコスト・スピード・サービスの実現 —
- ・ 港湾コスト ; 現状より約3割低減を目指します。
- ・ リードタイム ; 現状3~4日を1日程度まで短縮(シンガポール港と同レベル)。

幹線臨港道路等の整備（大阪港）

海上物流ネットワークと陸域交通網との有機的な連携により、効率的な物流体系を形成するとともに、港湾内及び港湾から背後地域への円滑な物流の確保や交通渋滞の解消を図ることを目的に、大阪港において、夢洲～咲洲を結ぶ臨港道路（夢洲トンネル）の整備促進を図ります。



《概要》

大阪港において、咲洲と夢洲を結ぶ幹線臨港道路（夢洲トンネル）等の整備促進を図ります。

○区 間：咲洲～夢洲間 延長約2.1km(うち海底部800m)

- 臨港道路（直轄）
- 臨港鉄道（大阪市）

○構 造：海底部（沈埋工法）、陸上部（開削工法）

○規格等：道路[片側2車線]

《H17事業内容》

平成17年度は、沈埋函の製作・沈設等を行います。



《事業の効果》

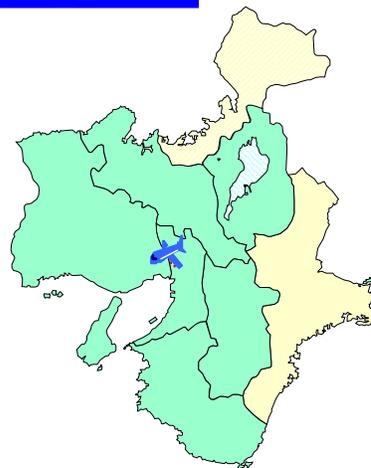
臨港道路（夢洲トンネル）の整備により輸送距離が短縮され、物流コストの削減が可能になります。



空港基本施設等の整備（大阪国際空港）

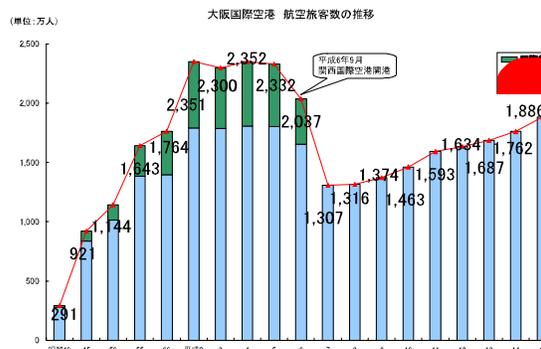
《目的》

大阪国際空港は、国内線の基幹空港として関西国際空港との機能分担を図りながら、関西圏の国内航空需要に対応するため、空港基本施設の改良や利用者の利便性向上に向けた関連施設の整備を進めていきます。



《空港の現況》

当空港は、関西国際空港の開港を契機に国内線の基幹空港として再出発しました。平成11年に旧国際線ターミナルがリニューアルオープンした事や大都市に近いという立地条件等により、利用者数の堅調な増加を維持しています。



《H17整備内容》

平成17年度は、空港基本施設（エプロン・誘導路）の改良、ターミナル地区の利便性向上を図るための要求をしていきます。

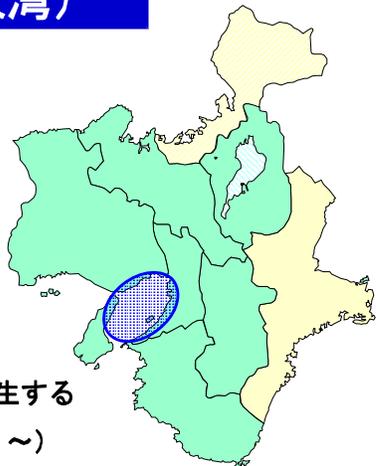
《事業の効果》

整備を進めることにより、安全な航空輸送の確保に努めるとともに、利用者のアクセス等利便性向上を目指します。



フェニックス事業の推進（大阪湾）

大都市圏を中心に、内陸部での廃棄物処分場を確保することがますます困難となっているため、廃棄物の減量化、再利用の促進を前提に、廃棄物海面処分場の整備を推進します。



《概要》

大阪湾において環境省と連携して、近畿2府4県の195市町村から発生する廃棄物を処分する海面埋立処分場を整備を推進します。（事業期間：S61～）

受入対象区域



《H17要求内容》

平成17年度は、引き続き各処分場の整備を進めますが、特に大阪沖埋立処分場においては、平成20年度からの廃棄物の受入を目指して護岸の整備を促進します。

【処分場の規模】

整備場所	処分場面積	廃棄物受入量	備考	
大阪湾	尼崎沖	113 ha	1,600万m ³	受入中
	泉大津沖	203 ha	3,100万m ³	受入中
	神戸沖	88 ha	1,500万m ³	受入中
	大阪沖	95 ha	1,400万m ³	整備中
計	499 ha	7,600万m ³		

《事業の効果》

大阪湾フェニックス計画を推進することにより、長期的安定的に廃棄物を適正に処理し、大阪湾圏域の生活環境の保全を図るとともに、造られた土地については港湾施設の用地等として有効に活用されます。



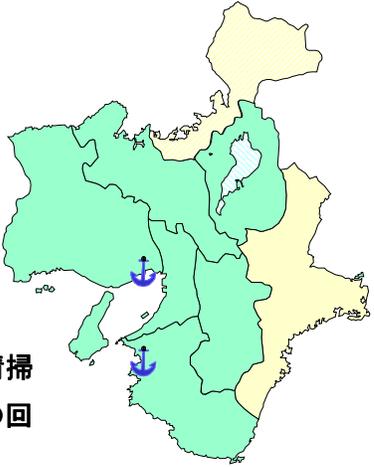
大阪沖処分場整備状況



大阪沖処分場イメージ図

海洋環境整備事業の推進（瀬戸内海）

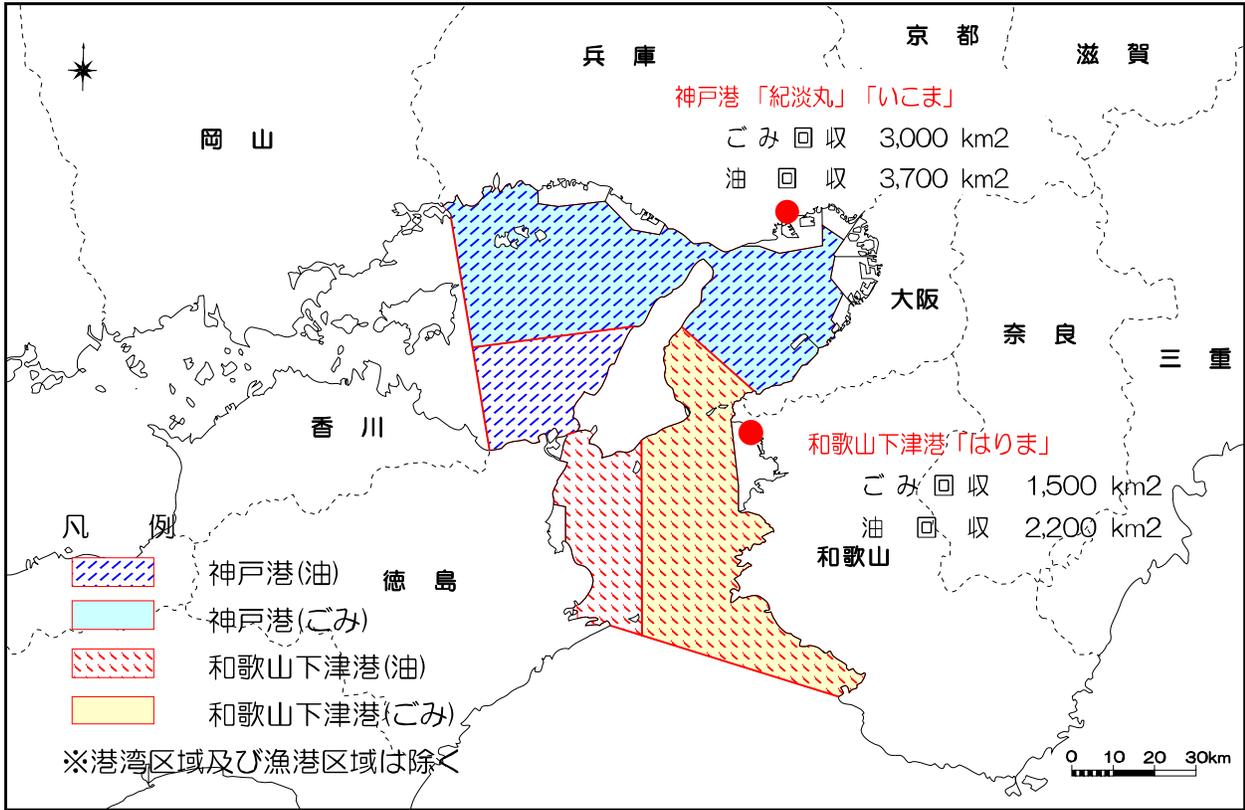
瀬戸内海における航行船舶の確保、海洋の汚染の防除、良質な海洋環境保全を積極的に行うため、一般海域5,900km²で海面の浮遊ごみ・浮遊油の回収業務を実施します。



《概要》

管内の2基地（神戸港、和歌山下津港）に海洋環境整備船3隻（海面清掃兼油回収船2隻、海面清掃船1隻）を配置し、海面の浮遊ごみ・浮遊油の回収業務を実施します。（事業期間：S49～）

○担務海域：瀬戸内海（大阪湾・紀伊水道・播磨灘のうち、港湾区域、漁港区域は除く）



海洋環境整備事業 担務海域図



海面清掃兼油回収船『紀淡丸』



海面清掃兼油回収船『はりま』

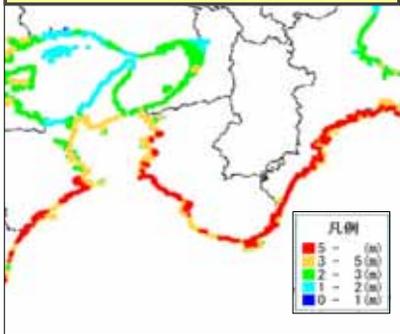
東南海・南海地震への津波対策等の重点的・効率的な推進

東南海・南海地震の影響を受ける海岸延長は約800kmあり（内港湾区域約490km）、その背後には約200万（内港湾区域約170万）の人々が生活しています。一方、耐震性未確認海岸は約8割にもものぼり、地震時の海岸施設の機能喪失により、甚大な津波被害が懸念されます。

こうした中、海岸施設の点検、水門等の遠隔化、津波防波堤・防潮堤整備等により、ハード対策・ソフト対策を推進します。

【海岸施設点検の推進】

津波高さは5mを越える予測もある中、約8割の延長が耐震調査未了。

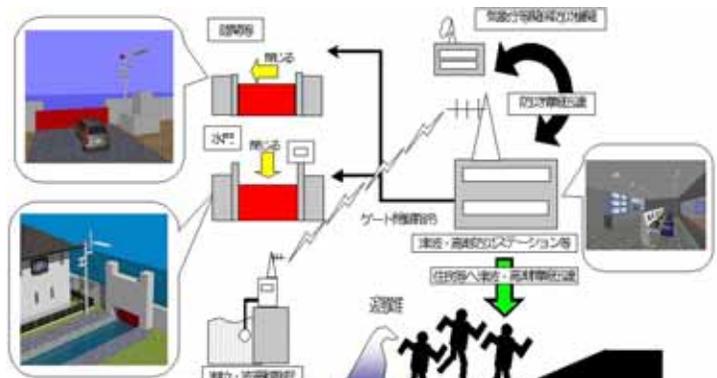


耐震性の評価を簡易的・定量的に行う手法「簡易耐震診断手法」の検討を今年度実施。

背後地域の状況に応じ、ソフト・ハードの整備を重点的かつ効率的に推進する。

【水門等の遠隔化・集中管理等によるソフト対策の推進】

津波災害から背後地の人命・財産を防護するための迅速な対応を可能にするため、水門・陸閘等の防潮施設を遠隔化・集中管理の整備をすすめていきます。



津波・高潮防災ステーションイメージ図

【津波防波堤による浸水被害の軽減】

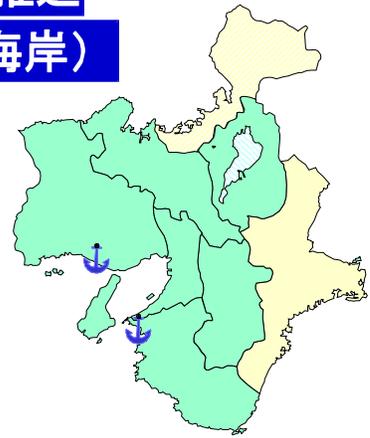
湯浅広港は、過去に安政南海地震等の津波により大きな被害を受けており、背後住民の安全を確保するため、津波防波堤等の整備を行います。

一方、当地は、津波ハザードマップ作成にも取り組まれ、ハードとソフトの両方により、浸水被害の軽減を目指します。



海辺に親しめる海岸づくりの推進 (和歌山下津港海岸・東播磨港海岸)

波浪による砂浜の浸食や、直立型護岸の整備による防災機能の向上により、住民が日常生活で海辺に親しめる海岸が少なくなってきました。親水性施設や海辺へのアクセスを可能とする施設の整備や、人工海浜の整備など住民が海辺に親しめる海岸づくりを推進します。



【和歌山下津港海岸】

《概要》

和歌山下津港海岸の片男波地区の海岸線は古くから海水浴場として親しまれてきましたが、台風などの高波浪により砂浜が失われ、海水浴場としての利用がふさわしくなくなってきました。

当海岸の日常的な海洋性レクリエーションの場を回復するため、護岸・人工海浜の整備等の整備を進めます。



片男波の利用状況

《H17要求》

平成17年度は離岸堤（潜堤）の整備を進めます。

【東播磨港海岸】

《概要》

昭和40年代に整備された直立型護岸により海辺へのアクセスが遮断されている当海岸の護岸を、老朽化対策と併せて緩傾斜護岸、養浜に改良し、住民が海辺へ近づける海浜を創造します。



整備前



整備後

東播磨港海岸の護岸状況

《H17要求》

人工海浜（養浜）の整備を行います。

《事業の効果》

海岸環境整備事業により、これまで海辺と遮断されてきた海岸の親水性を回復・創造し、近年の高度化・多様化している利用者のニーズに応えるべく整備を進めています。

和歌山下津港海岸片男波地区ではマリンスポーツの拠点として、騒音やマナーなどのトラブルも生じてきましたが、地元住民によるルール・マナーの啓蒙活動や環境改善に関する取り組みも実施されるなど、地域住民も参画した海岸環境づくりが行われています。

5) 営繕関係の概要

基本方針

地球環境問題への対応や災害に対する安全の確保、まちづくりへの寄与、少子・高齢化対策等に配慮しつつ、適正な質と長期的な耐用性を有する施設の整備を計画的かつ着実に推進していきます。

近畿地方整備局の基本方針・重点施策の実現に向けて

「人」が集まり交流するための近畿の都市の再生

- ・ 木津地方合同庁舎の整備の推進（継続）
- ・ 柏原地方合同庁舎の整備の推進（新規・敷地調査）

安全で安心できる暮らしの実現

- ・ 既存の防災拠点施設の耐震対策整備の推進
- ・ 木津地方合同庁舎の整備の推進（継続）
- ・ 既存施設のバリアフリー化改修整備の推進

近畿の環境共生に向けた取り組み

- ・ 木津地方合同庁舎の整備の推進（継続）
- ・ 既存施設のグリーン改修整備の推進

「人」が集まり交流するための近畿の都市の再生

地域の特色や創意工夫を活かしつつ都市拠点の形成、良好な市街地環境の形成を図るため、中心市街地の活性化等に資する官庁施設など、地域のまちづくりに寄与するシビックコア地区整備計画等の手法による施設整備の推進を図ります。

- ・木津地方合同庁舎（継続）
- ・柏原地方合同庁舎（新規・敷地調査）

シビックコア地区整備制度などを活用した快適で活力のある都市の再生、街並みの新生・再生に寄与する官庁施設の整備計画の推進



シビックコア地区イメージ図

安全で安心できる暮らしの実現

官庁施設が防災拠点としてその機能を十分発揮できるよう、構造体のみならず設備等も含めた建築物全体としての総合的な耐震安全性を確保した防災拠点施設の整備を推進します。さらにバリアフリー化を新築はもとより既存施設においても推進します。

既存の防災拠点施設の耐震対策整備の推進

耐震安全性が確保されていない既存の防災拠点施設について、計画的な耐震対策を実施



耐震改修前



耐震改修後（イメージ）

新築施設のバリアフリー化整備の推進

・木津地方合同庁舎（継続）

既存施設のバリアフリー化改修整備の推進

既存施設にエレベーター、スロープ、誘導用ブロック等を設置



エレベーターの設置



スロープの設置

近畿の環境共生に向けた取り組み

官庁施設の二酸化炭素排出量の削減を図るため、太陽光発電、屋上緑化、複層ガラス、設備機器の効率化等の環境負荷低減技術を活用したグリーン庁舎（環境配慮型官庁施設）の整備を推進します。また、既存官庁施設についても、グリーン診断結果に基づき、計画的なグリーン改修を推進します。

グリーン庁舎の整備の推進

- ・木津地方合同庁舎（継続）

既存施設のグリーン改修の整備の推進



グリーン庁舎イメージ図



太陽光発電設備



屋上緑化

主要事業の概要

木津地方合同庁舎 (継続工事)

工事場所	京都府相楽郡木津町
構造規模	R C - 3 約 1,800 m ²
完成予定	平成 17 年度

柏原地方合同庁舎 (新規 敷地調査)

調査場所	兵庫県氷上郡柏原町
完了予定	平成 17 年度